

令和2年度

議会アンケート調査報告書

1. 調査の概要…………… 1
2. 回答者の状況…………… 1
3. 設問別アンケート結果の概要…………… 4
4. アンケート結果のまとめ…………… 28

別紙 単純集計表、男女別集計表、年代別集計表

2020年 10月

箕輪町議会 議会活動活性化委員会

1. 調査の概要

(1)調査の目的

令和元年4月に行われた町議会議員選挙が無投票であったことを受け、町民のこの問題に対する意識や議会に対する現状認識を調査し、定数やなり手不足について考える基礎データを収集する。

(2)調査の設計

調査対象 18歳以上の箕輪町に住む日本人 2000人
抽出方法 令和2年6月16日現在の住民基本台帳から無作為抽出
調査方法 郵送
調査期間 令和2年7月6日～31日

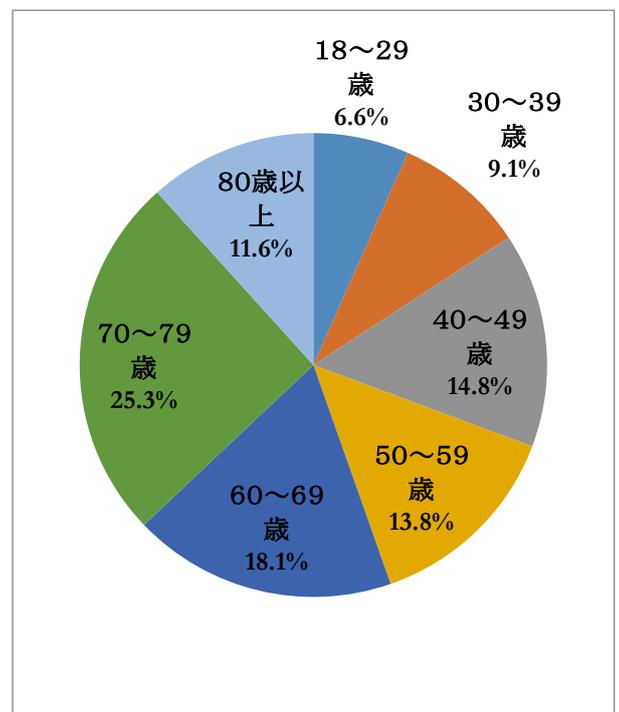
(3)回収結果

回答数 883人 回答率44.2%

2. 回答者の状況

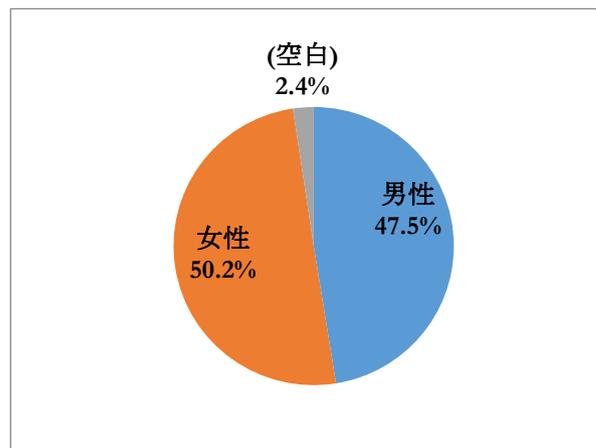
(1)年代別状況

年齢段階	人数	割合
18～29歳	58	6.6%
30～39歳	80	9.1%
40～49歳	131	14.8%
50～59歳	122	13.8%
60～69歳	160	18.1%
70～79歳	223	25.3%
80歳以上	102	11.6%
(空白)	7	0.8%
計	883	



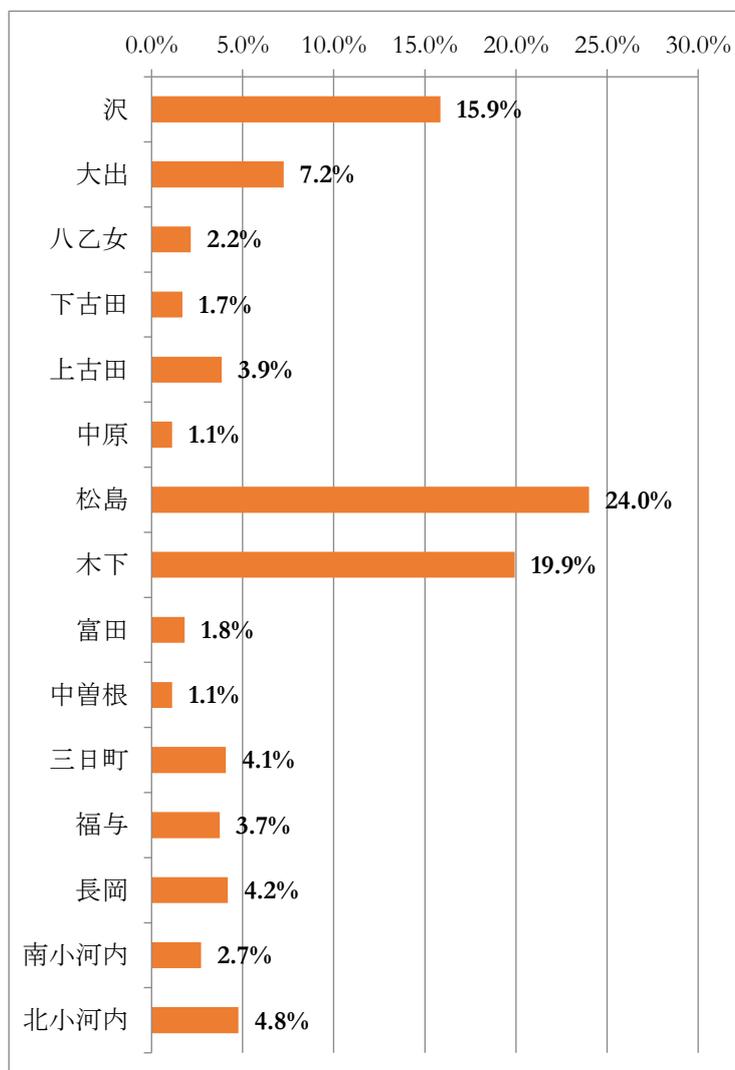
(2)男女別状況

性別	人数	割合
男性	419	47.5%
女性	443	50.2%
(空白)	21	2.4%
計	883	



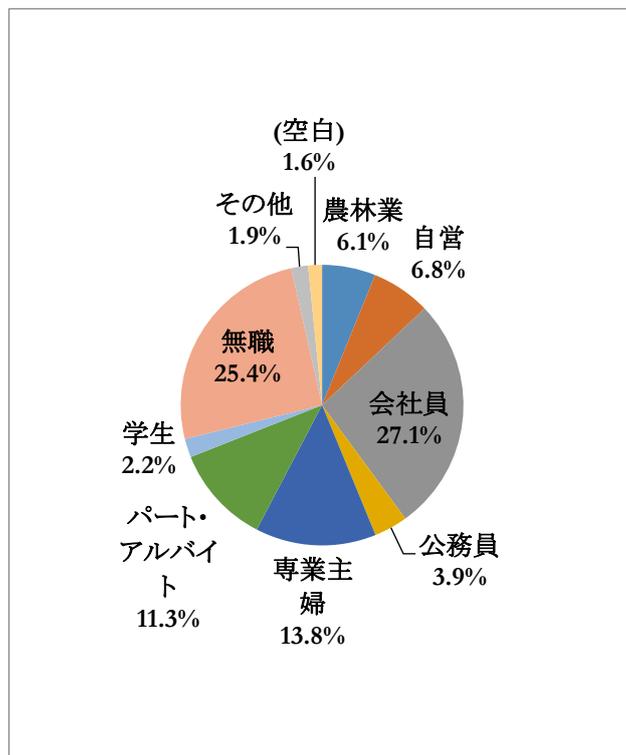
(3)居住地区別状況

地区	人数	割合
沢	140	15.9%
大出	64	7.2%
八乙女	19	2.2%
下古田	15	1.7%
上古田	34	3.9%
中原	10	1.1%
松島	212	24.0%
木下	176	19.9%
富田	16	1.8%
中曽根	10	1.1%
三日町	36	4.1%
福与	33	3.7%
長岡	37	4.2%
南小河内	24	2.7%
北小河内	42	4.8%
(空白)	15	1.7%
計	883	



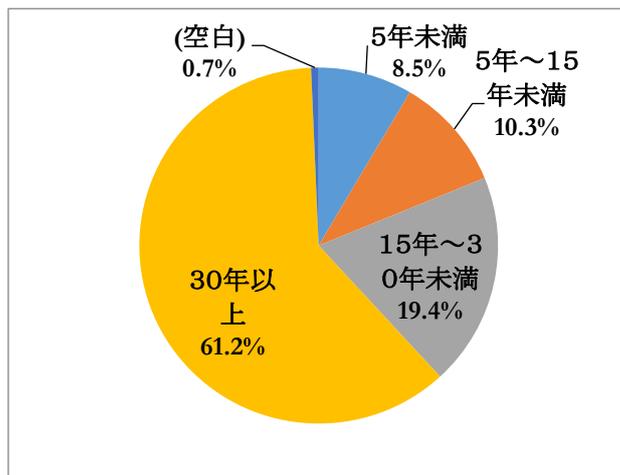
(4) 職業別状況

職業	人数	割合
農林業	54	6.1%
自営	60	6.8%
会社員	239	27.1%
公務員	34	3.9%
専業主婦	122	13.8%
パート・アルバイト	100	11.3%
学生	19	2.2%
無職	224	25.4%
その他	17	1.9%
(空白)	14	1.6%
計	883	



(5) 居住年数別状況

居住年数	人数	割合
5年未満	75	8.5%
5年～15年未満	91	10.3%
15年～30年未満	171	19.4%
30年以上	540	61.2%
(空白)	6	0.7%
計	883	



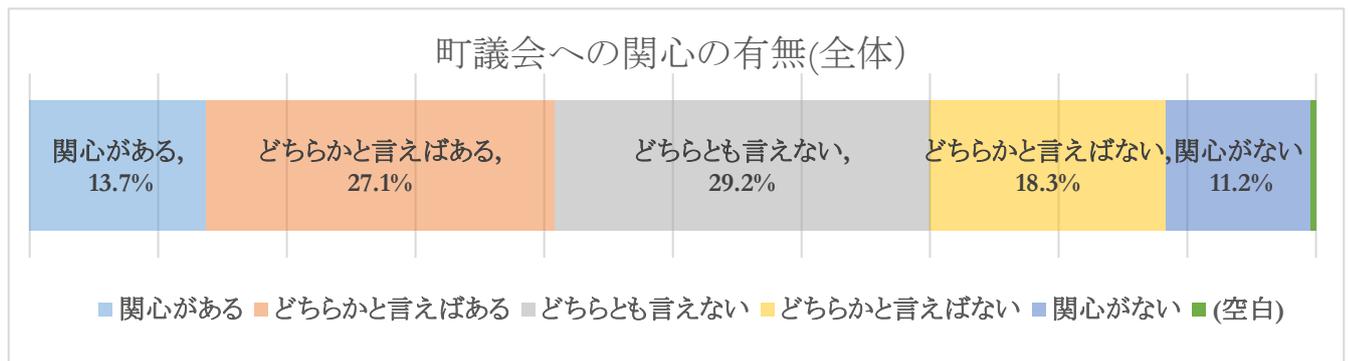
3. 設問別アンケート結果の概要

町議会への関心

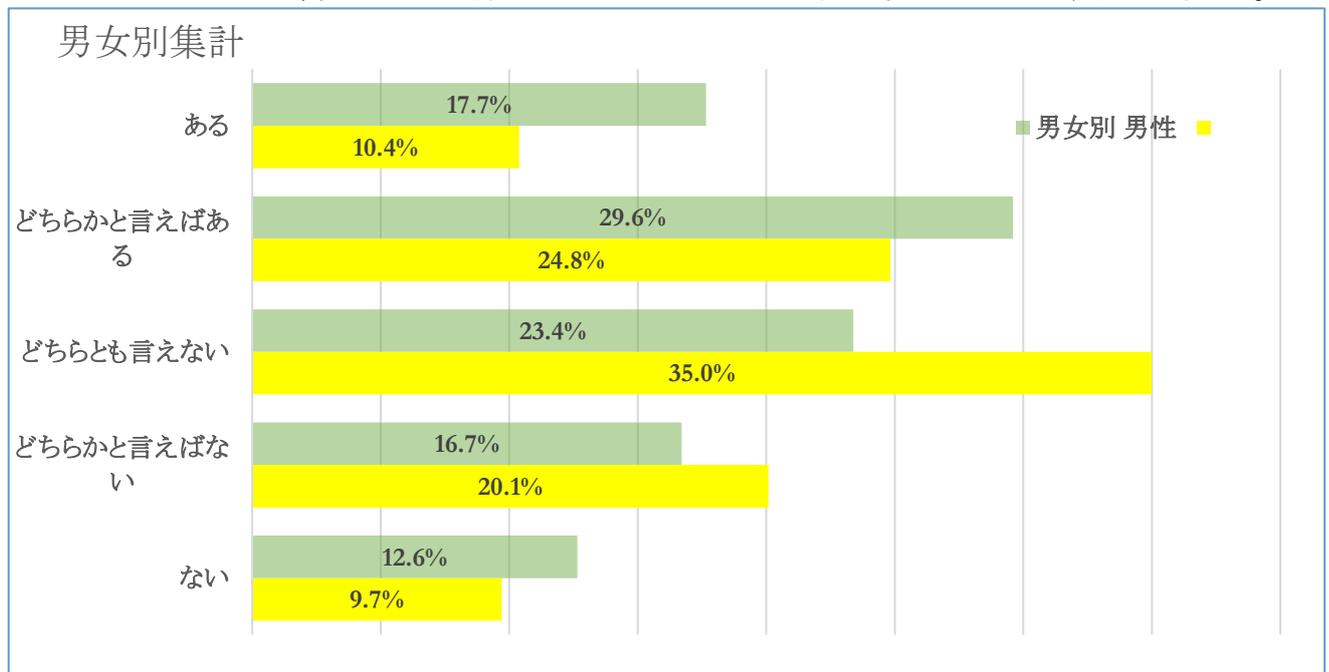
高齢者ほど高い関心、若者・中年・女性の関心が低調

問6 あなたは町議会に関心がありますか

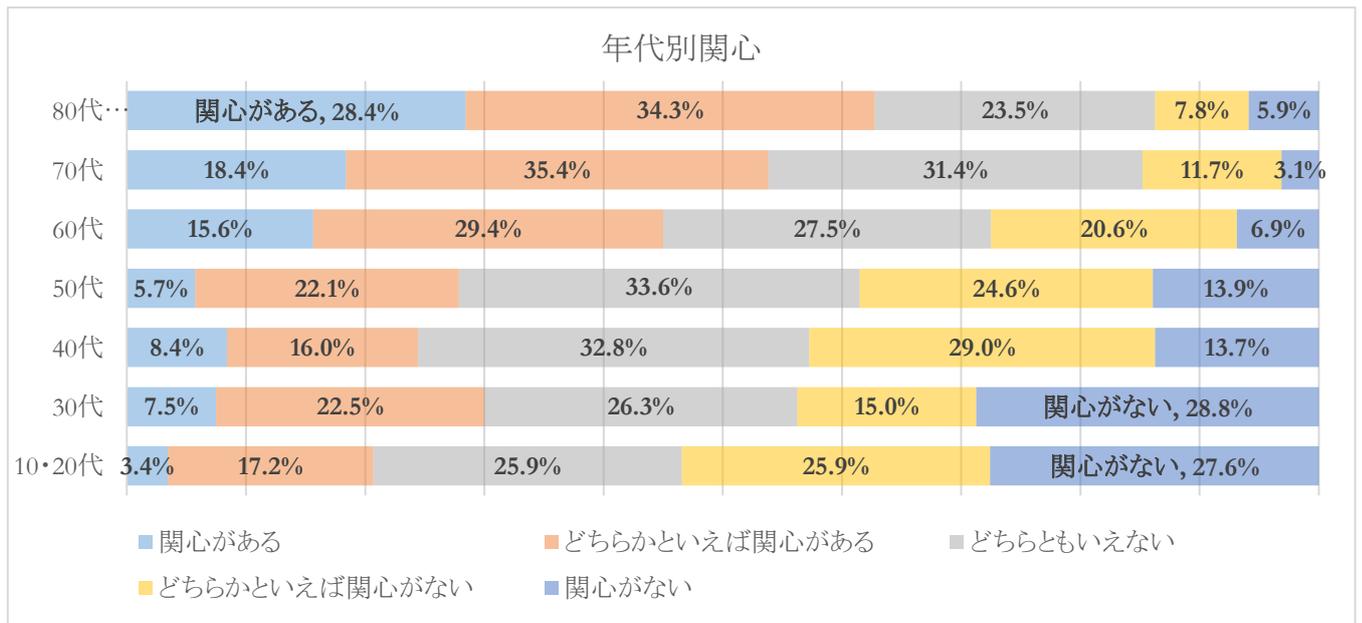
「関心がある」13.7%、「どちらかと言えばある」27.1%で40.8%の人が関心があると答えている。「どちらかと言えばない」、「関心がない」は合わせて261人29.5%で、29.2%がどちらとも言えないとなっている。



男女別では男性が「ある」、「どちらかと言えばある」合わせて198人47.3%が関心ありとしているが、女性では合わせて156人35.2%で女性の方が関心が低い。



年代別では60代以上で「関心がある」が「関心がない」を上回り、50代以下では「関心がない」方が多くなっている。高齢になるほど関心が高く、若くなるほど関心が低い傾向にある。



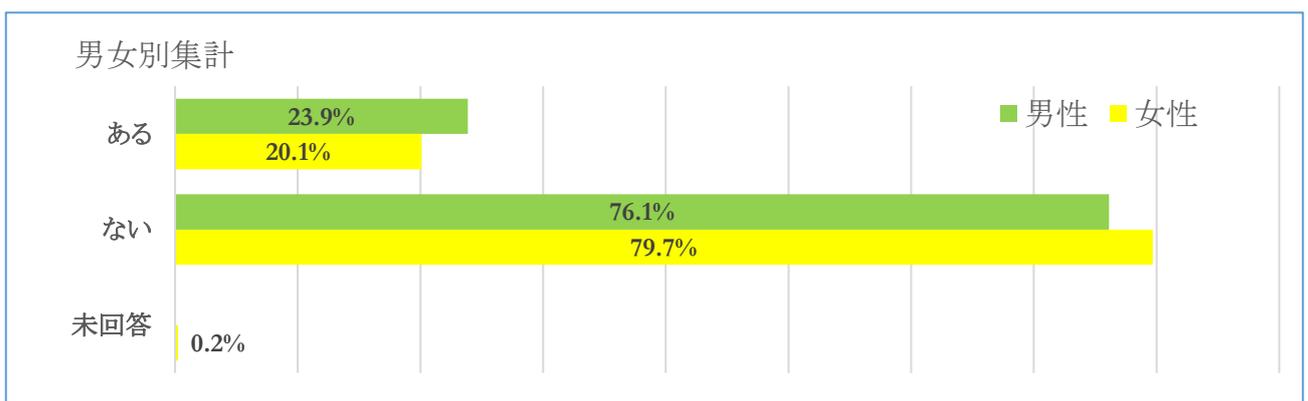
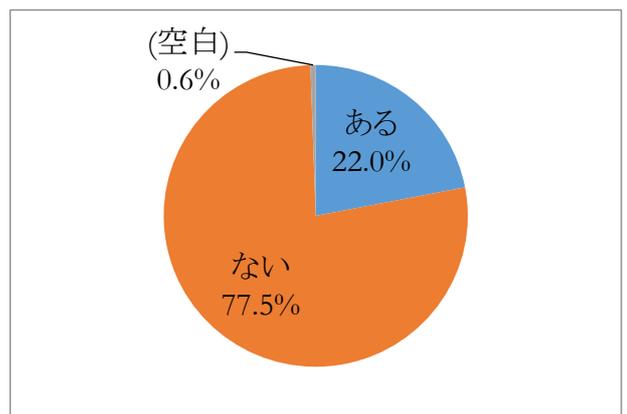
町議会傍聴経験の有無

約 8 割が傍聴経験なし 若年・中年ほど低調

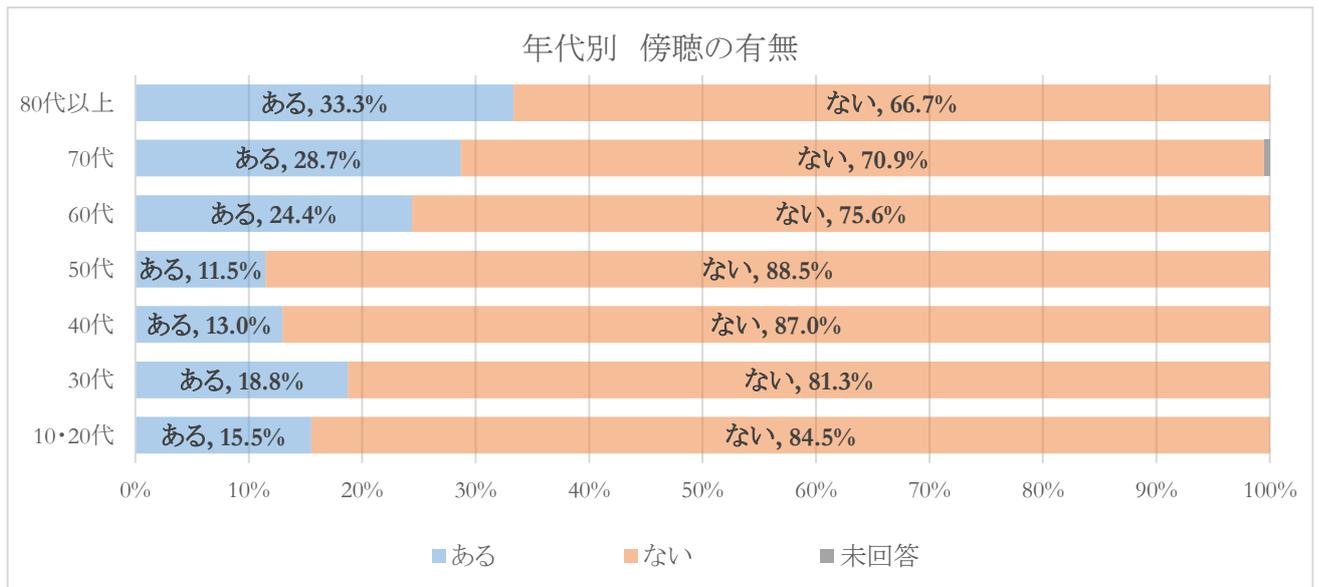
問7 あなたは町議会を傍聴したことがありますか

「傍聴したことがある」194人22.0%、「傍聴したことがない」は684人77.5%で、8割近くの町民が傍聴していない。

男女別で見ると下図の通りで、男女での差異はほとんどない。



年代別に見ると60代以上では30%程度が傍聴経験ありなのに対し、50代以下では20%以下で、中年から若い層で低調である。



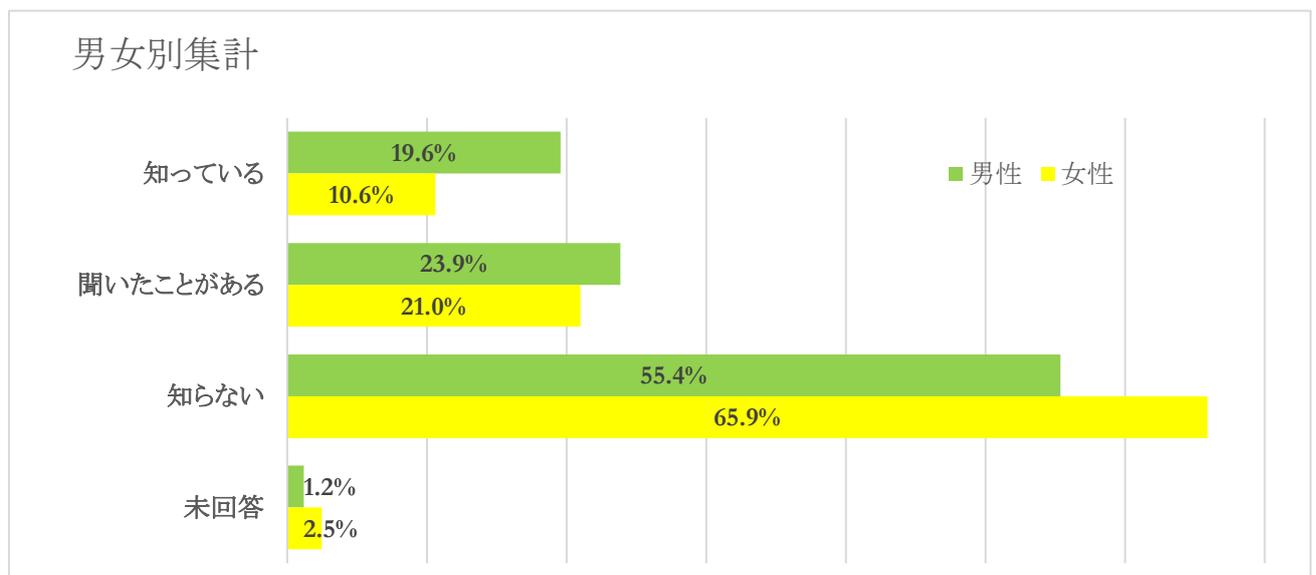
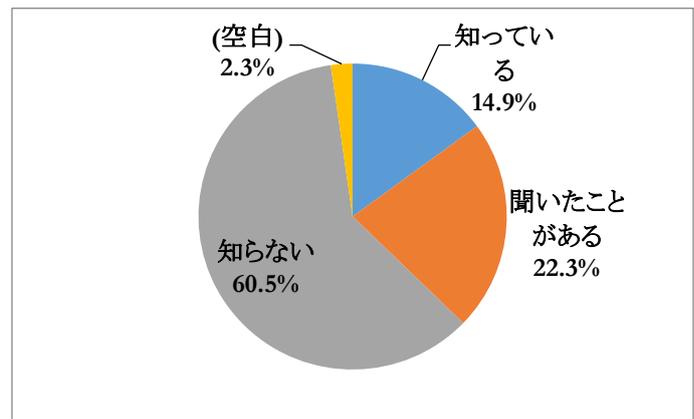
二元代表制について知っているか

知らない⇒60% 女性・若い世代で増

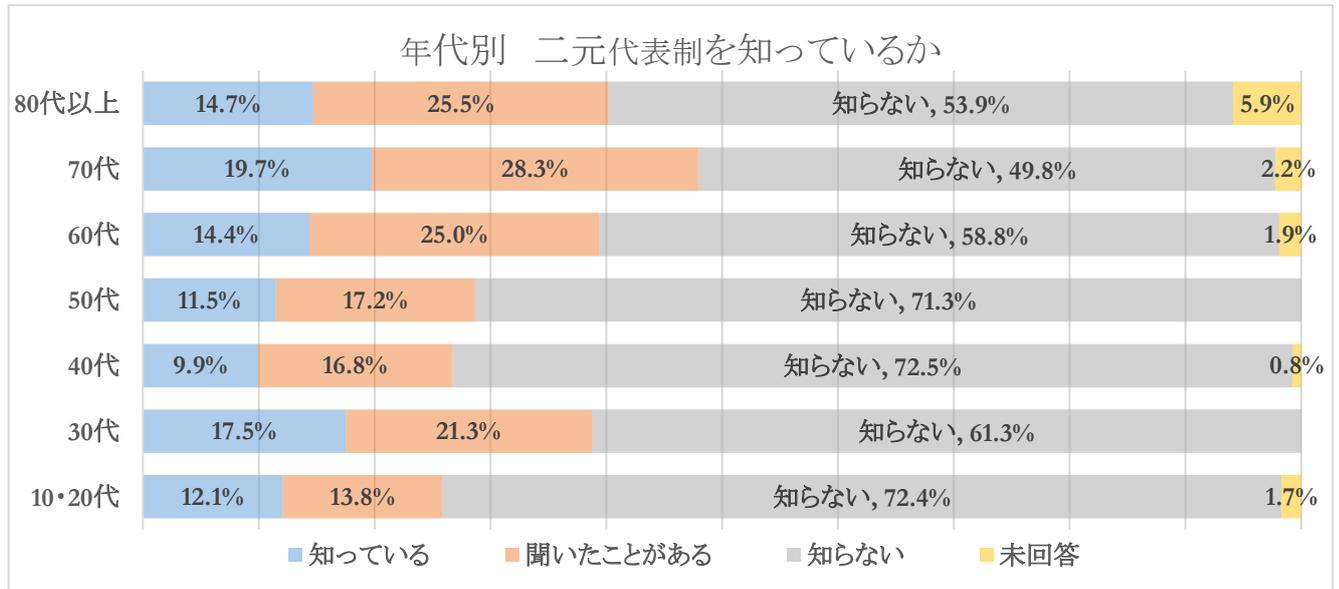
問8 あなたは地方政治の二元代表制についてご存じですか

「知っている」14.9%、「知らない」は534人60.5%で、多くの町民が知らない。

男女別では女性の方が知らない人が10%ほど高くなっている。



年代別にみると60代以上では「知らない」が60%以下なのに対し、50代以下では30代を除き「知らない」が70%を超えている。



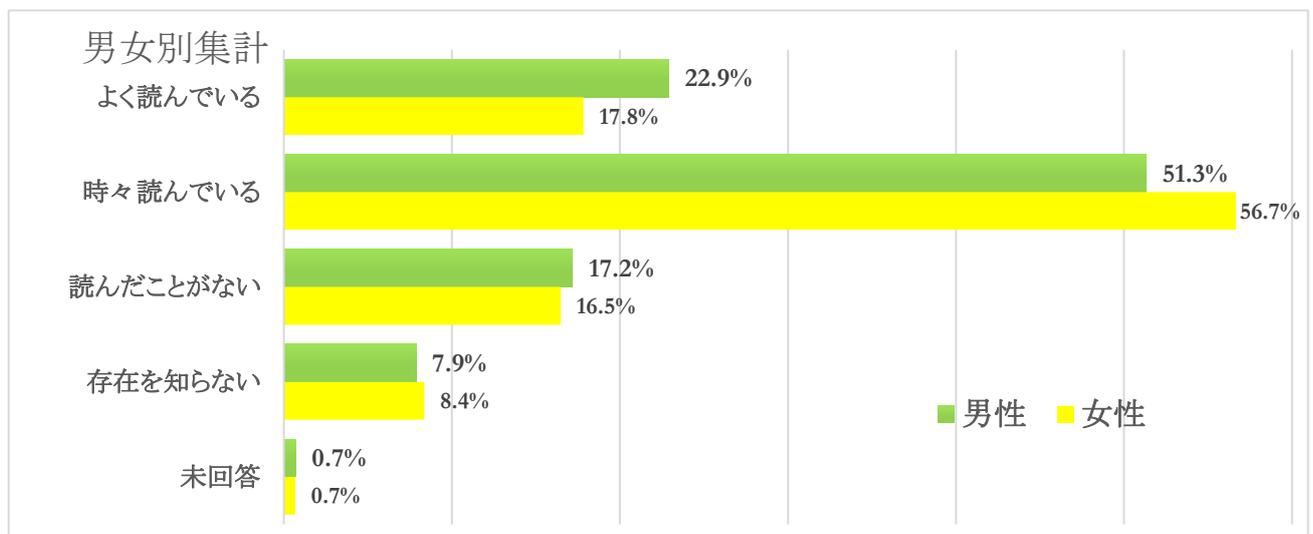
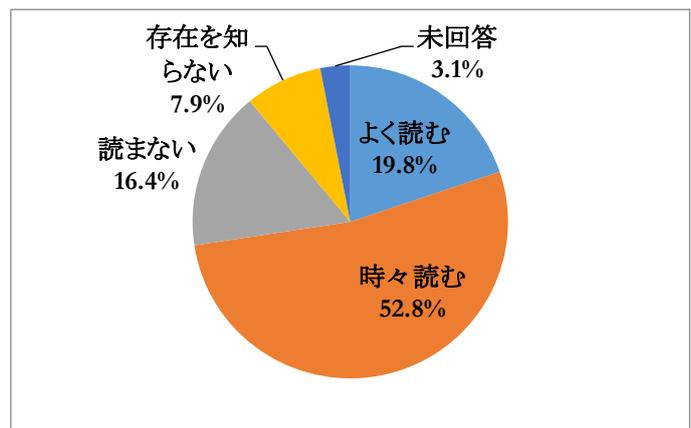
議会だよりを読んでいるか

町民の73%が読む 若年代:3割以上が読まない

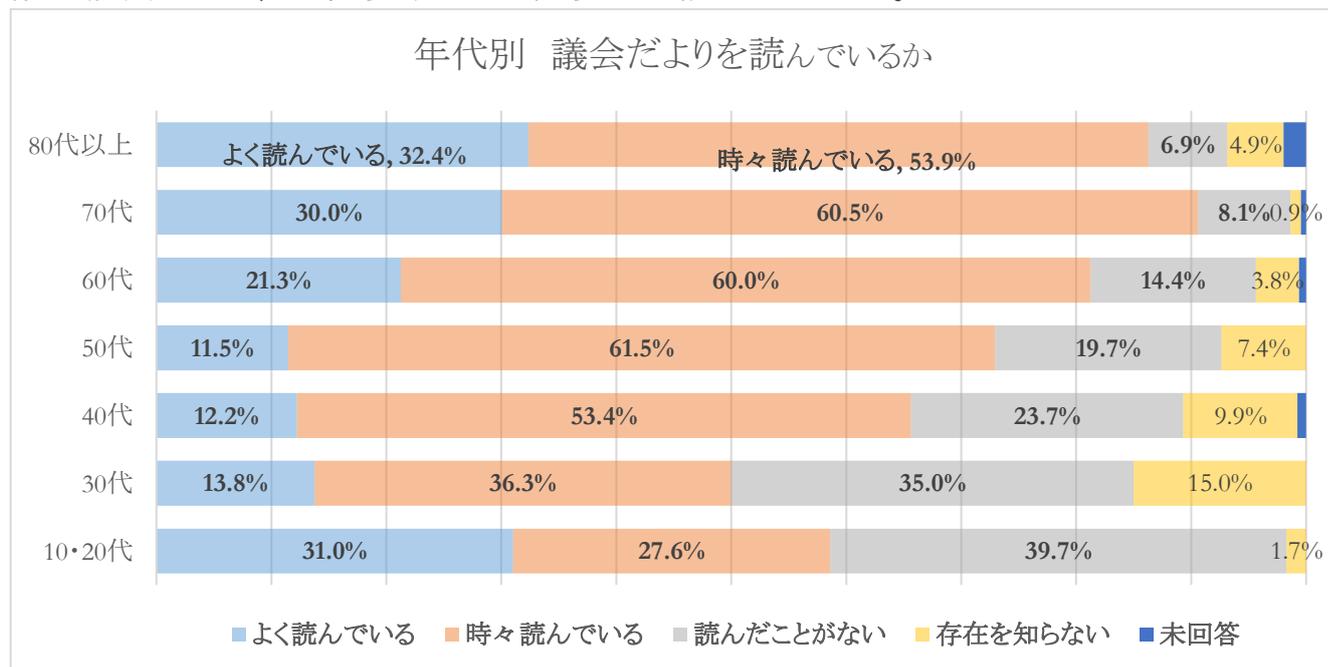
問9 あなたは「町議会だより」をご覧になったことがありますか

「よく読む」175人19.8%、「時々読む」は466人52.8%で、72.6%の町民が読んでおり、よく読まれている。

男女別に見ても同じ傾向である。



年代別に見ると60代以上では8割を超えて読まれているが、50代以下では漸減の傾向にあり、40代以下では3割以上が読んでいない。



町議会のHPを見ているか

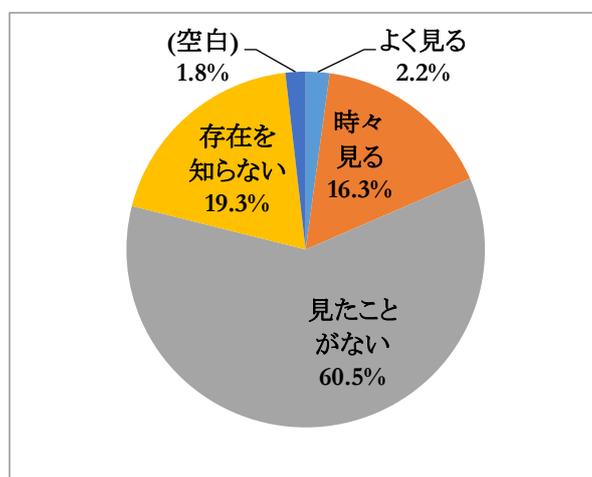
殆ど見られず HPの利用は極めて低調

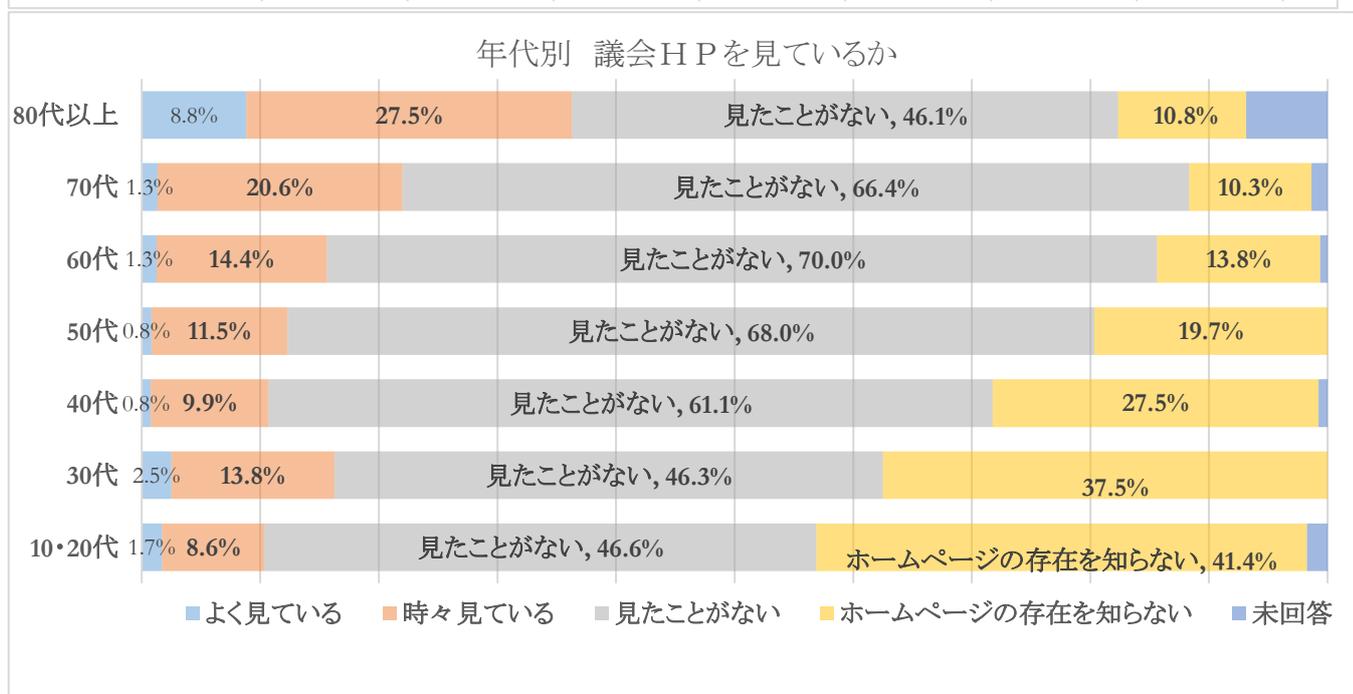
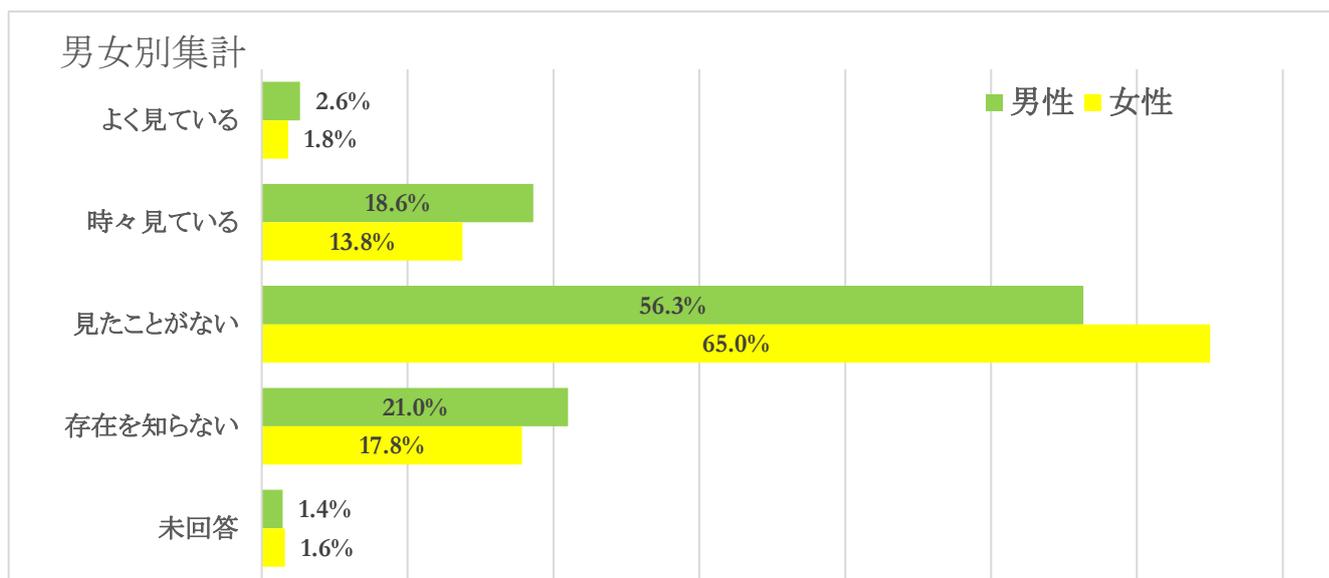
問10 あなたは町議会のホームページををご覧になったことがありますか

「よく見る」2.2%、「時々見る」は144人16.3%で、合わせても18.5%。一方「見たことがない」534人60.5%、「知らない」170人19.3%で、ホームページの利用は非常に低調である。

男女とも約8割弱が「見たことがない」または「存在を知らない」となっていて、ほぼ同傾向である。

年代別では80代の36.3%が見ているのに対し、10・20代の88%が見ておらず、若いほど見ない傾向にある。



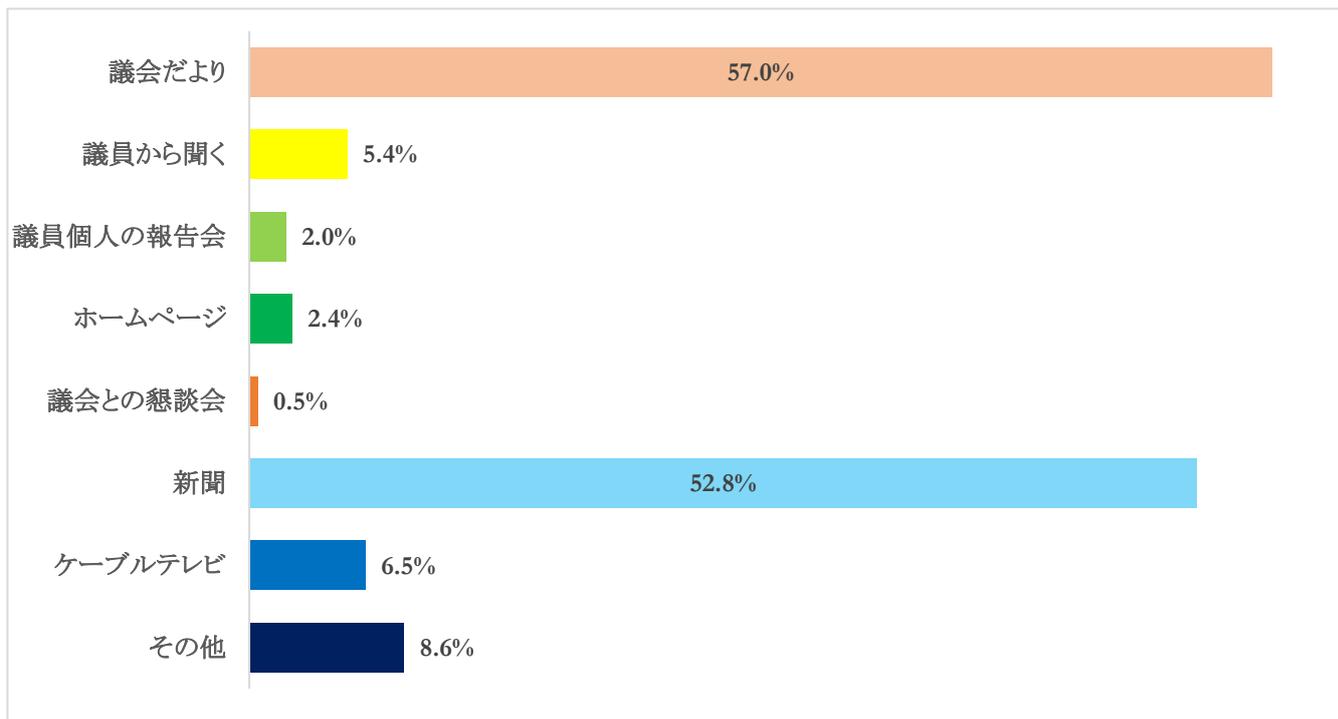


町議会や議員の情報をどこから得ているか

多くの町民が議会だよりと新聞から

問11 あなたは町議会や議員の活動状況などの情報をどこから得ていますか
「議会だより」503人57.0%、「新聞」が466人52.8%で群を抜いている。その他の手段は何れも数%以下である。

男女別、年代別に見ても同じ傾向で差異はない。



議会基本条例の制定を知っているか

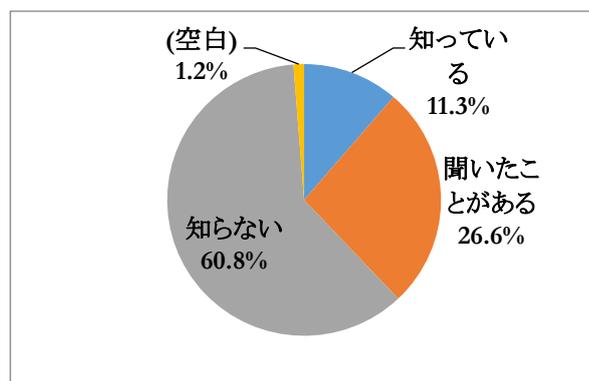
殆ど知られていない

問12 あなたは町議会基本条例が制定されていることをご存知ですか

「知っている」は100人11.3%、「知らない」が537人60.8%で議会基本条例の認知度は非常に低い。

男女別に見ても差はない。

年代別に見ても同傾向だが、若い世代ほど知られていない。



議会との意見交換会を知っているか

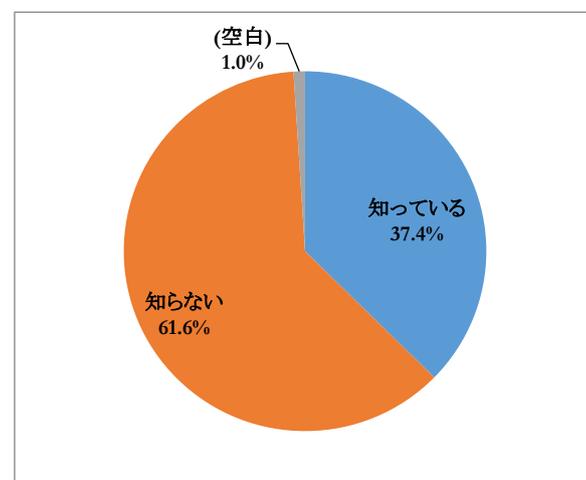
町民の6割は知らない 若いほど知らない

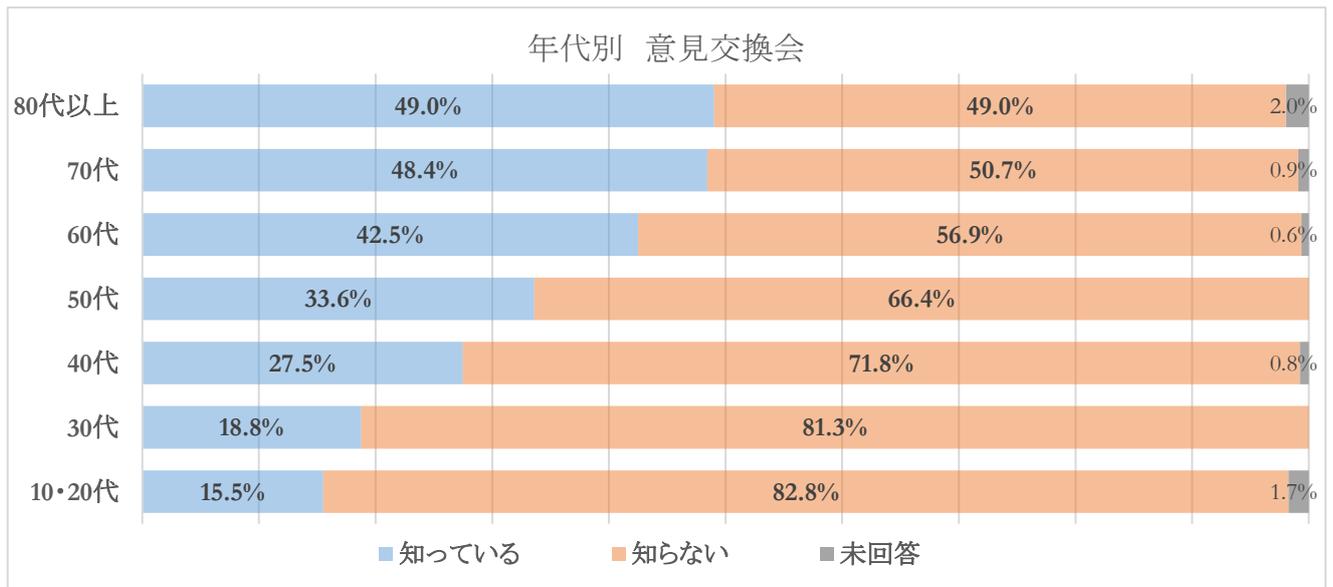
問13 あなたは各種団体や町民グループと議会との意見交換会が開催されていることをご存知ですか

「知っている」は330人37.4%、「知らない」が544人61.6%で町民の6割強は議会との意見交換会の存在を知らない。

男女別でも同じ傾向で差異はない。

年代別に見ると60代以上では4~5割が知っているが、40代以下では7割以上が知らない。若い世代ほど知らない割合が多い。



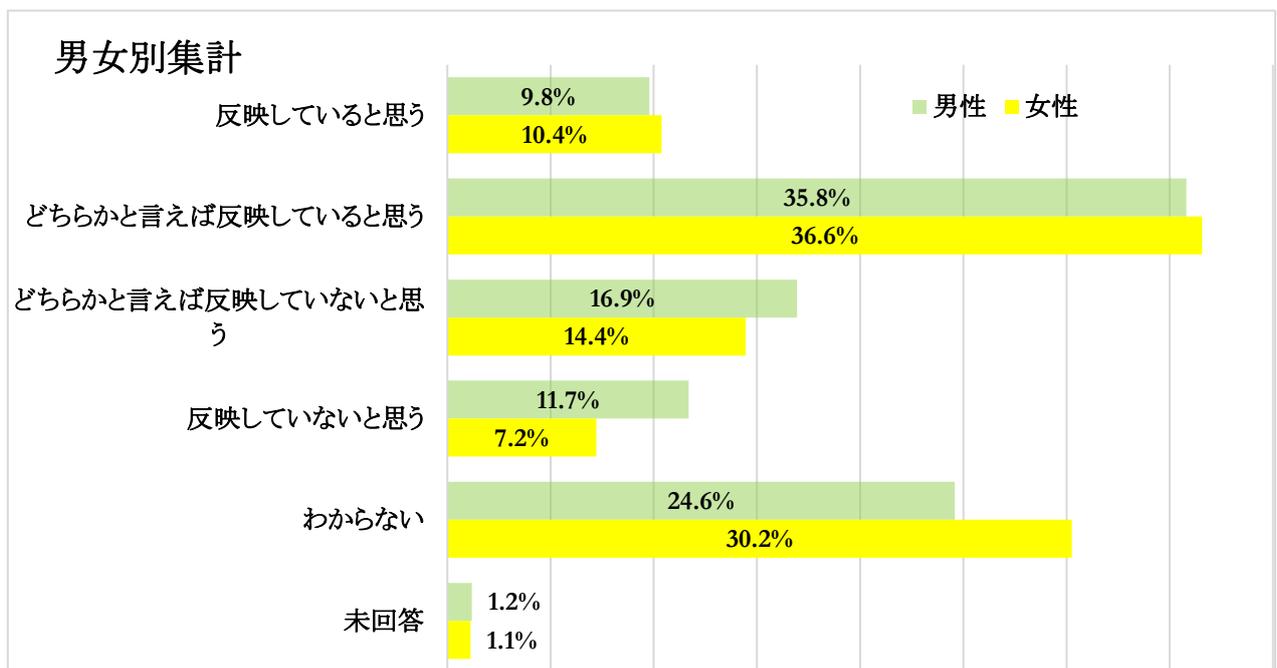
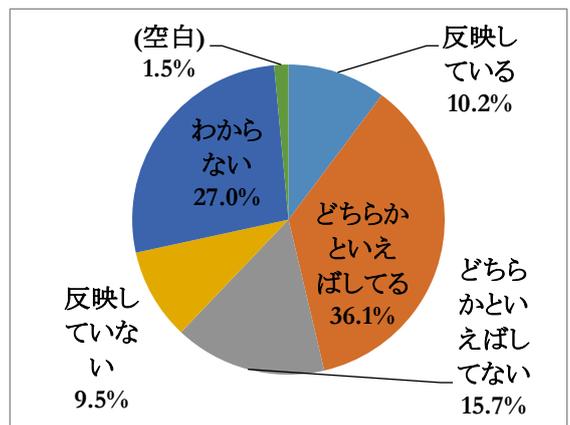


町民の声を反映しているか 46.3%が反映している 高年代ほど高い評価

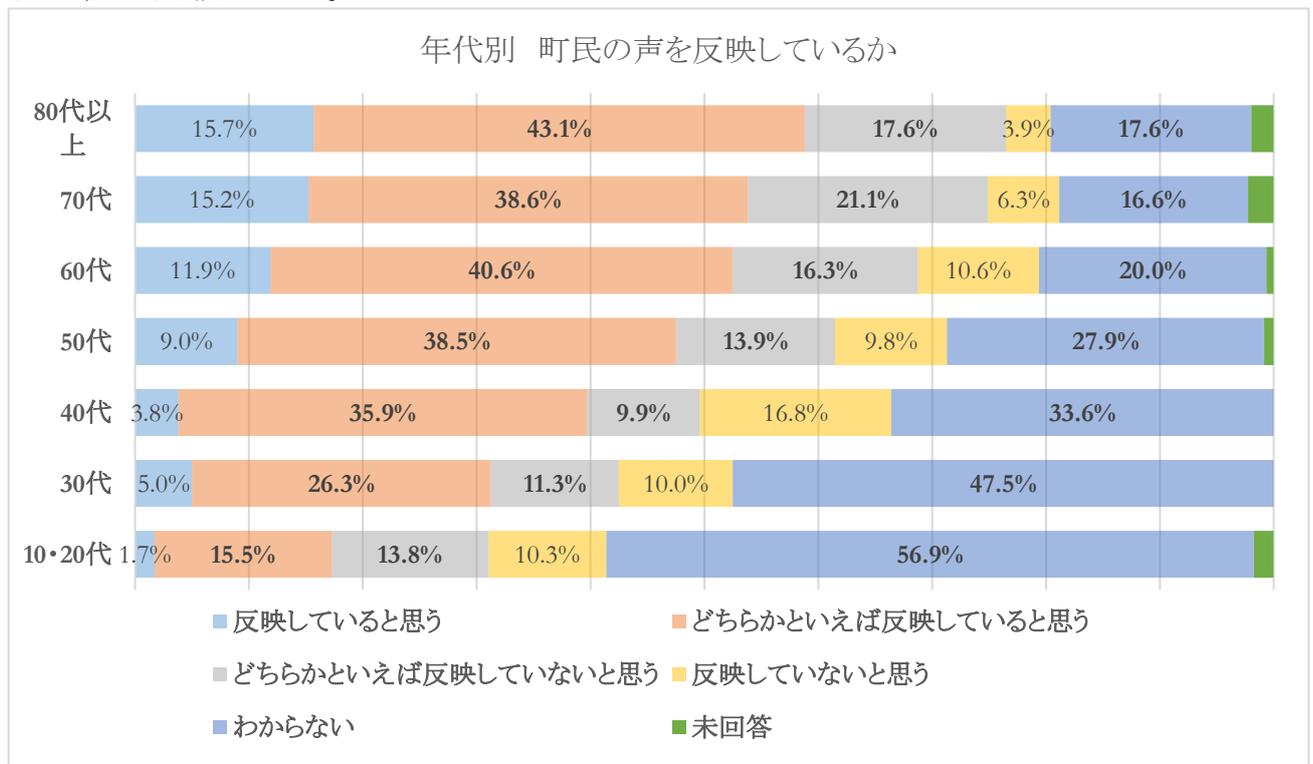
問14 あなたは議員が町民の代表として、町政に町民の声を反映していると思いますか

「反映している」、「どちらかと言えば反映している」合わせて409人46.3%、「反映していない」、「どちらかと言えば反映していない」は合わせて223人25.2%、となっている。

男女別では男性がやや辛口だが、男女ともほぼ同じ傾向である。



年代別に見ると60代以上では5割以上が「反映している」としているのに対し、30代以下では4割以下である。一方「反映していない」としているのは各年代とも20%台で似た評価である。



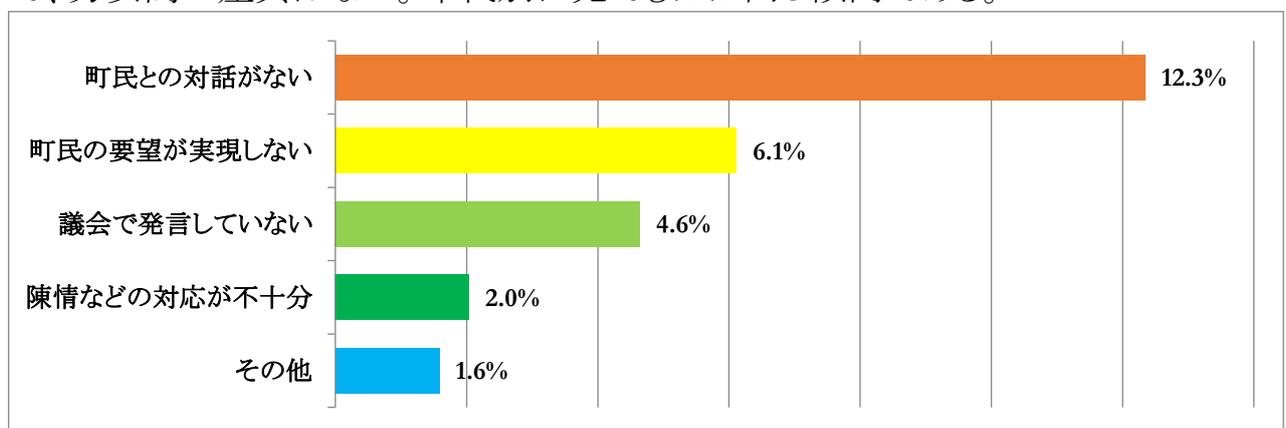
反映していない理由

町民との対話がないが1位

問15 「14」で「どちらかと言えば反映していない」「反映していない」とを選択された方のみにお伺いします。その理由を教えてください。

「反映していない」としたのは223人。その理由は「町民との対話がない」が12.3%、「町民の要望が実現されていない」が6.1%、「議会で発言していない」4.6%、「請願・陳情への対応が不十分」2.0%となっている。（全回答者比）

男女別に見ても「町民との対話がない」が首位で、以下の順番割合ともほぼ同じで、男女間の差異はない。年代別に見てもほぼ同じ傾向である。



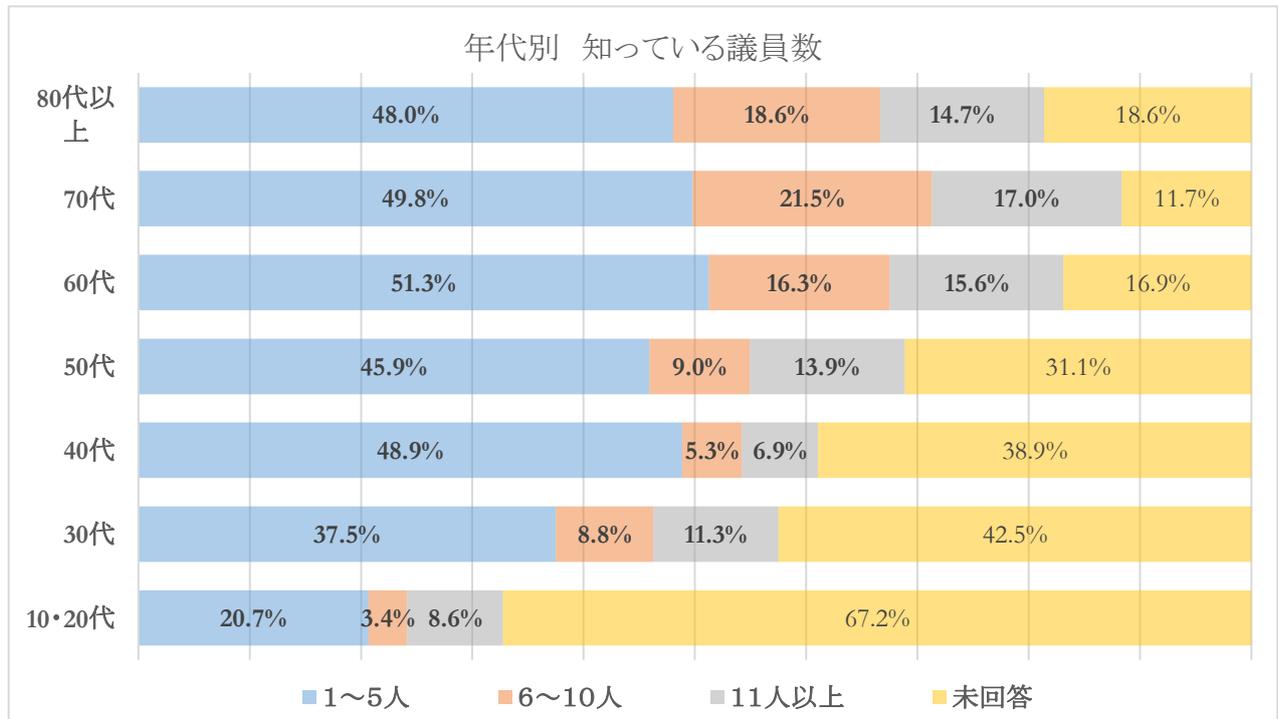
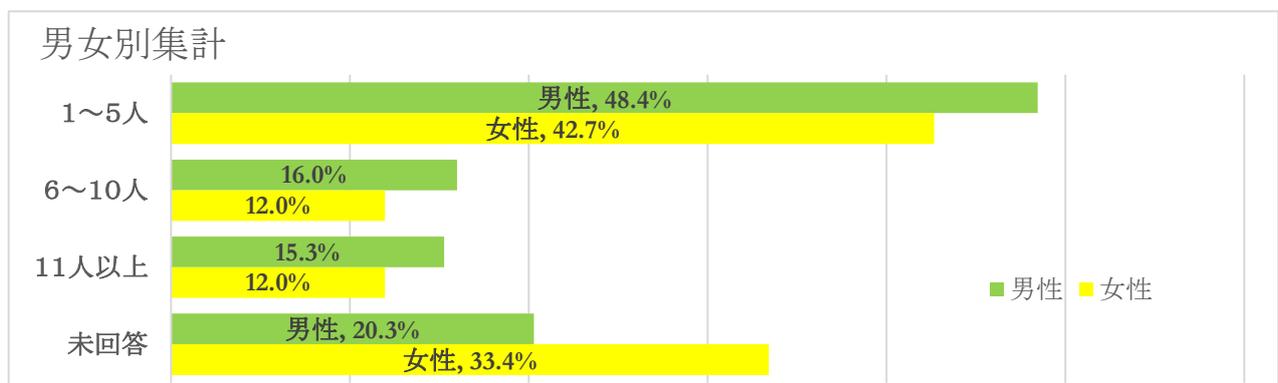
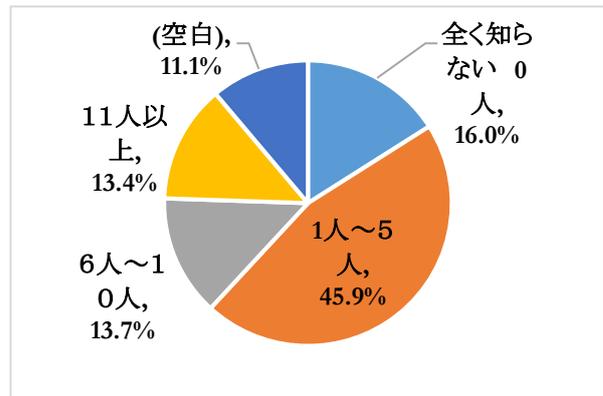
議員を何人知っているか

約半数が5人以内

問16 あなたは議員を何人知っていますか

「1～5人」が45.9%、「6～10人」が13.7%、「11人以上」が13.4%、全く知らない人も16%いた。

男女別、年代別ともほぼ同じ傾向であったが、若い年代で未回答が多かった。



議員に意見要望を伝えているか

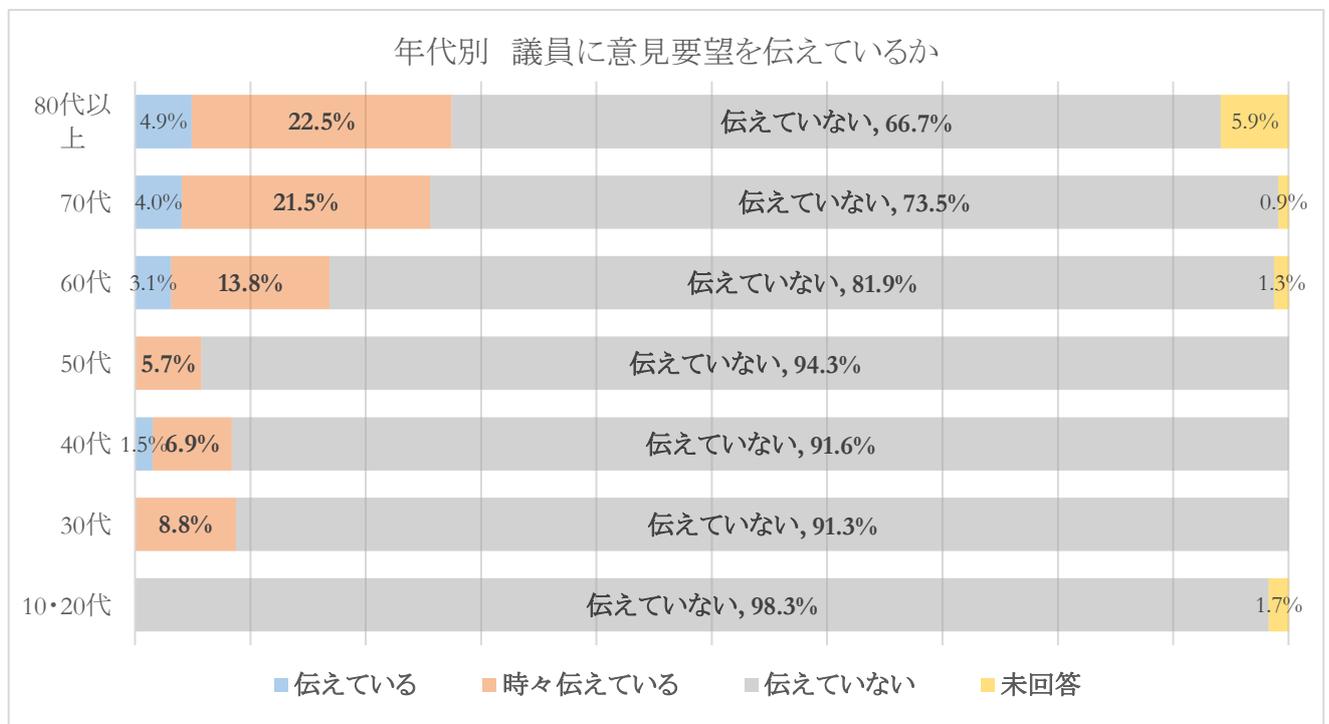
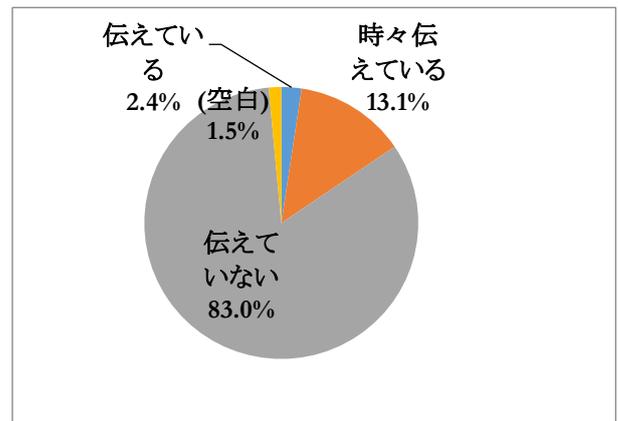
8割以上が伝えていない 若いほど伝えず

問17 あなたは議員に自分の意見や要望を伝えていますか

「伝えていない」が733人83.0%、「時々伝えている」が116人13.1%、「伝えている」はわずかに21人2.4%。殆どの町民が伝えていない。

男女ともほぼ同じ割合で男女での差異はない。

年代別では若いほど「伝えていない」が多くなっている。



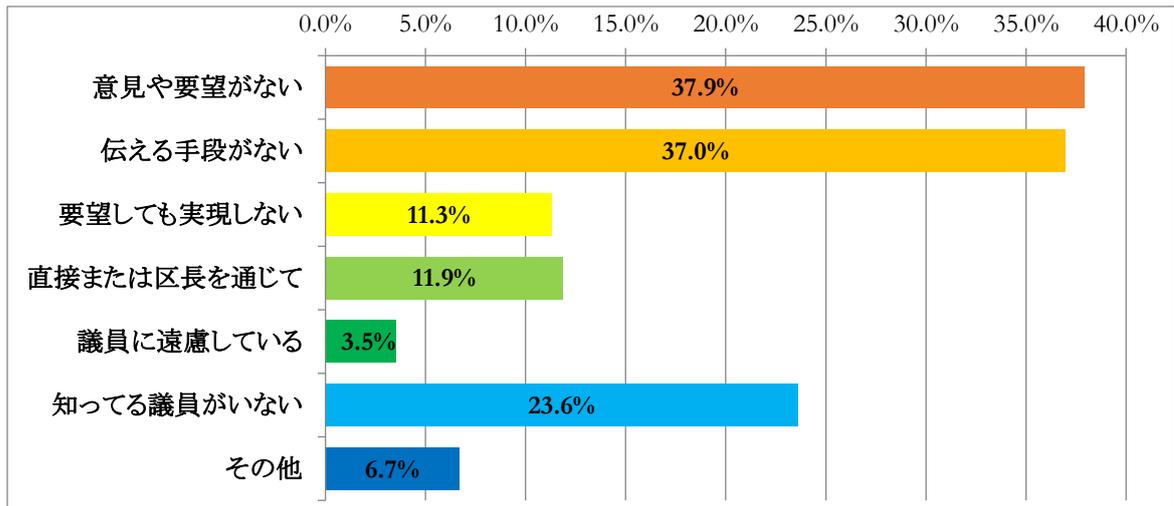
伝えていない理由

「意見・要望がない、伝える手段がない」が上位

問18 「17」で伝えていない」を選択した方にお伺いします。その理由は。

「意見・要望がない」が278人37.9%、「伝える手段がない」が271人37.0%、「知っている議員がいない」が173人25.6%で大半を占めている。

男女別でも概ね同じ傾向である。年代別でも概ね同じ傾向だが、若い年代で「知っている議員がいない」が増加している。



議会や議員に何を期待するか

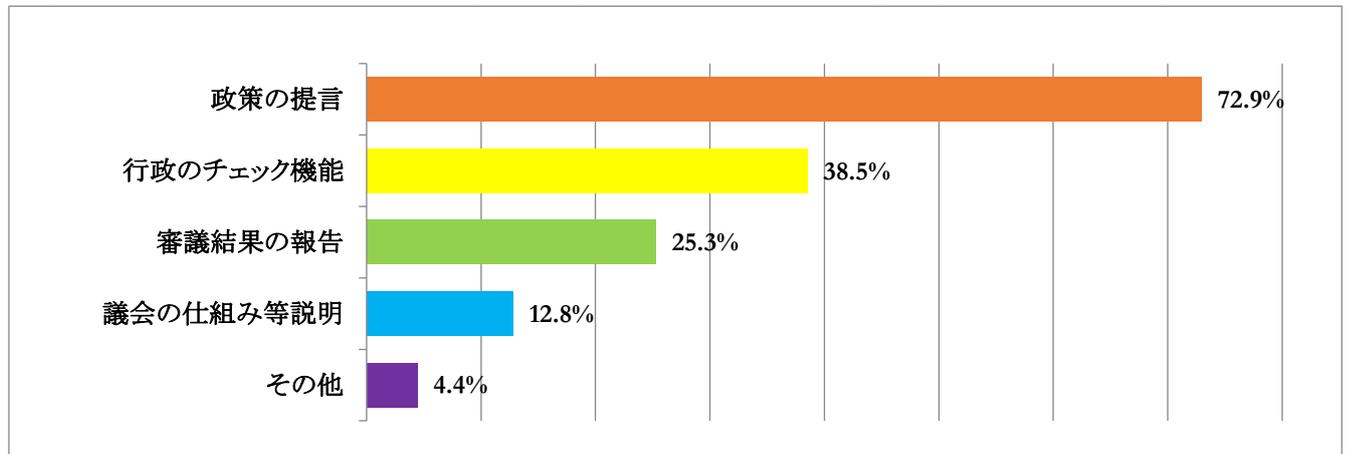
政策の提言、行政のチェック機能に期待

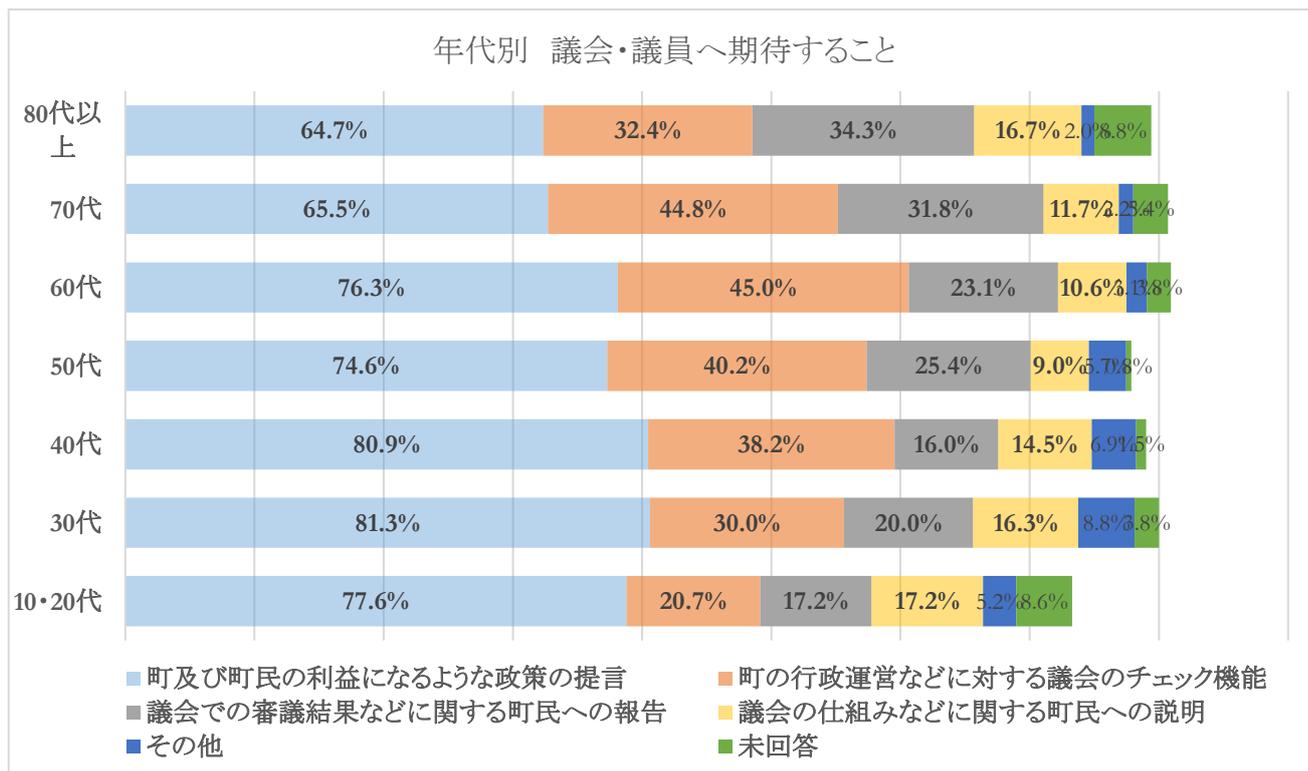
問19 あなたは議会や議員のあり方として何を期待しますか

「町の利益になる政策の提言」が644人72.9%、「行政のチェック機能」が340人38.5%、「審議結果の報告」が223人25.3%で続いている。

男女別にみた場合ほぼ同様の傾向であるが、「行政のチェック機能」については男性が43.9%、女性が33.9%で、男性が女性を上回る。

年代別でも同様の傾向だが、若い年代ほど「政策提言」が多くなっている。





町議会選挙は選挙になった方がよいか

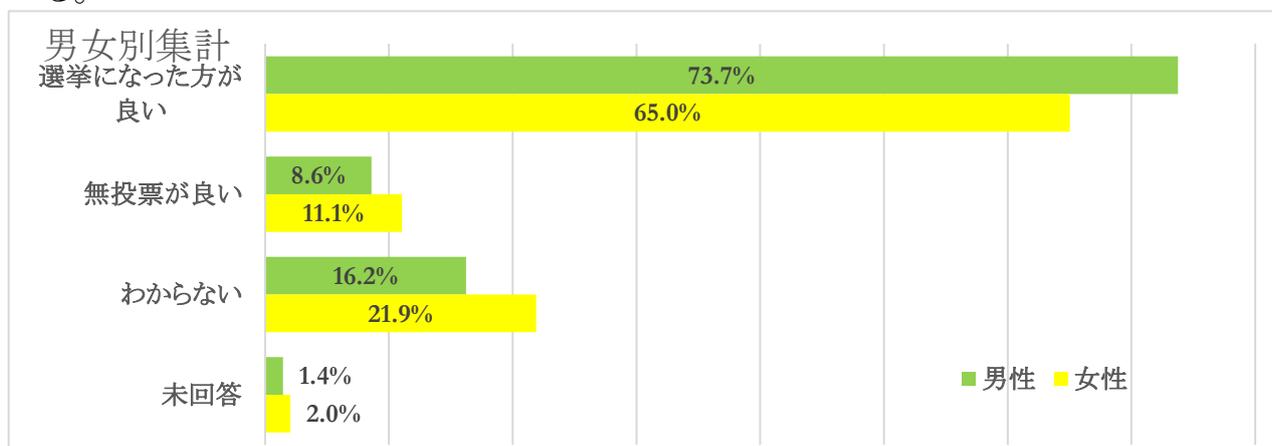
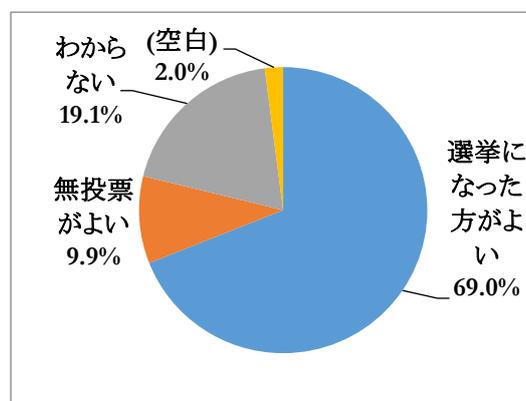
全世代で選挙を望む声強い

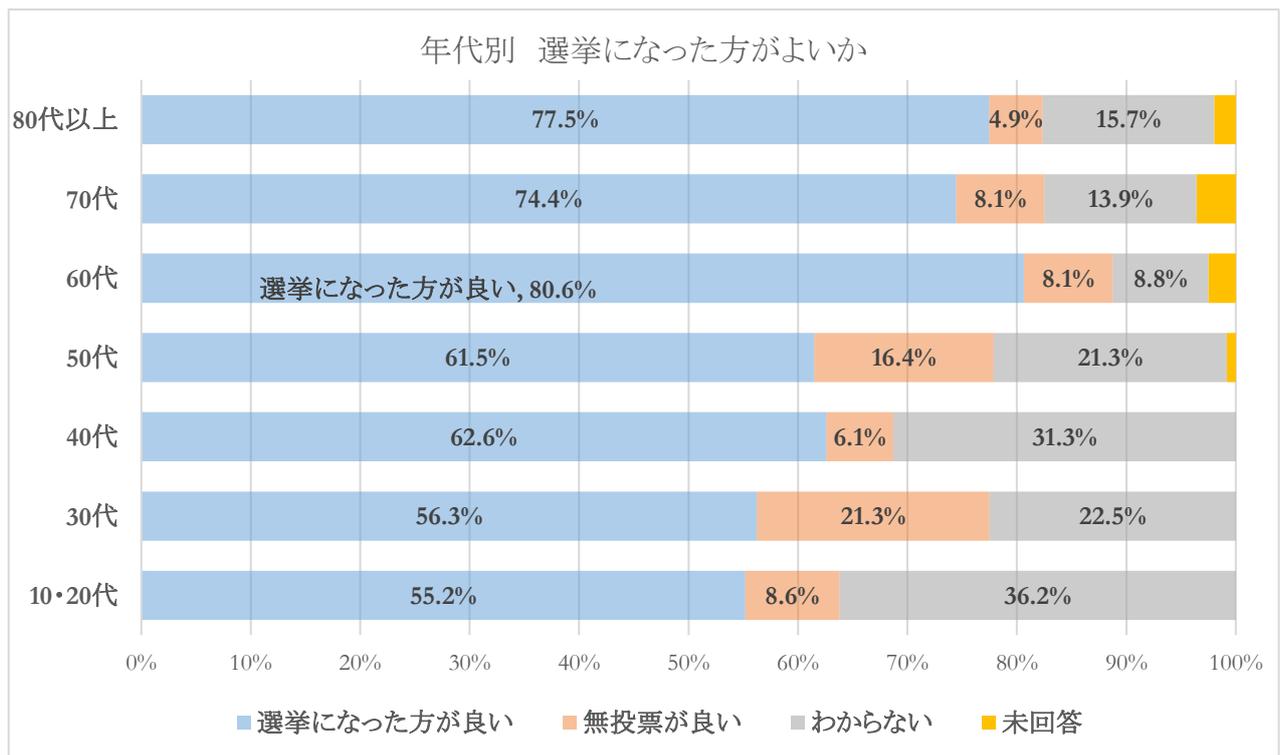
問20 昨年4月の町議会選挙は無投票となったが、町議会選挙は選挙になった方がよいですか。それとも無投票がよいですか。

「選挙になった方がよい」が597人69.0%、「無投票がよい」は85人9.9%、「わからない」が19.1%で選挙を望む声が圧倒的に多い。

男女別に見ても同様の傾向である。

年代別では高齢世代ほど選挙をすべきとしている。



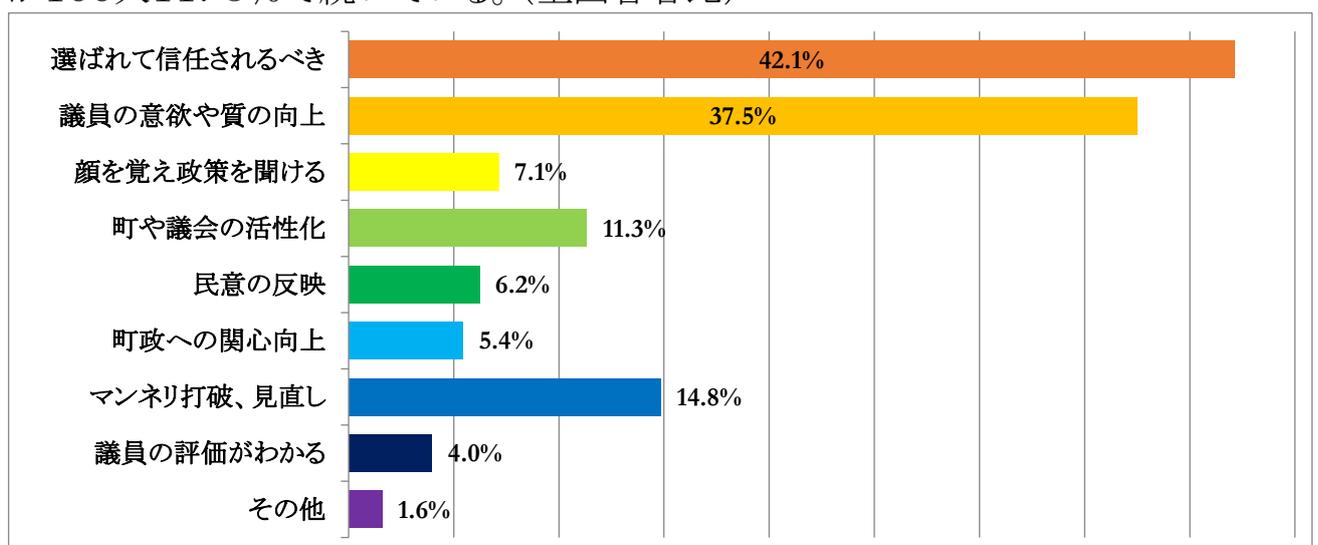


選挙になった方がよい理由

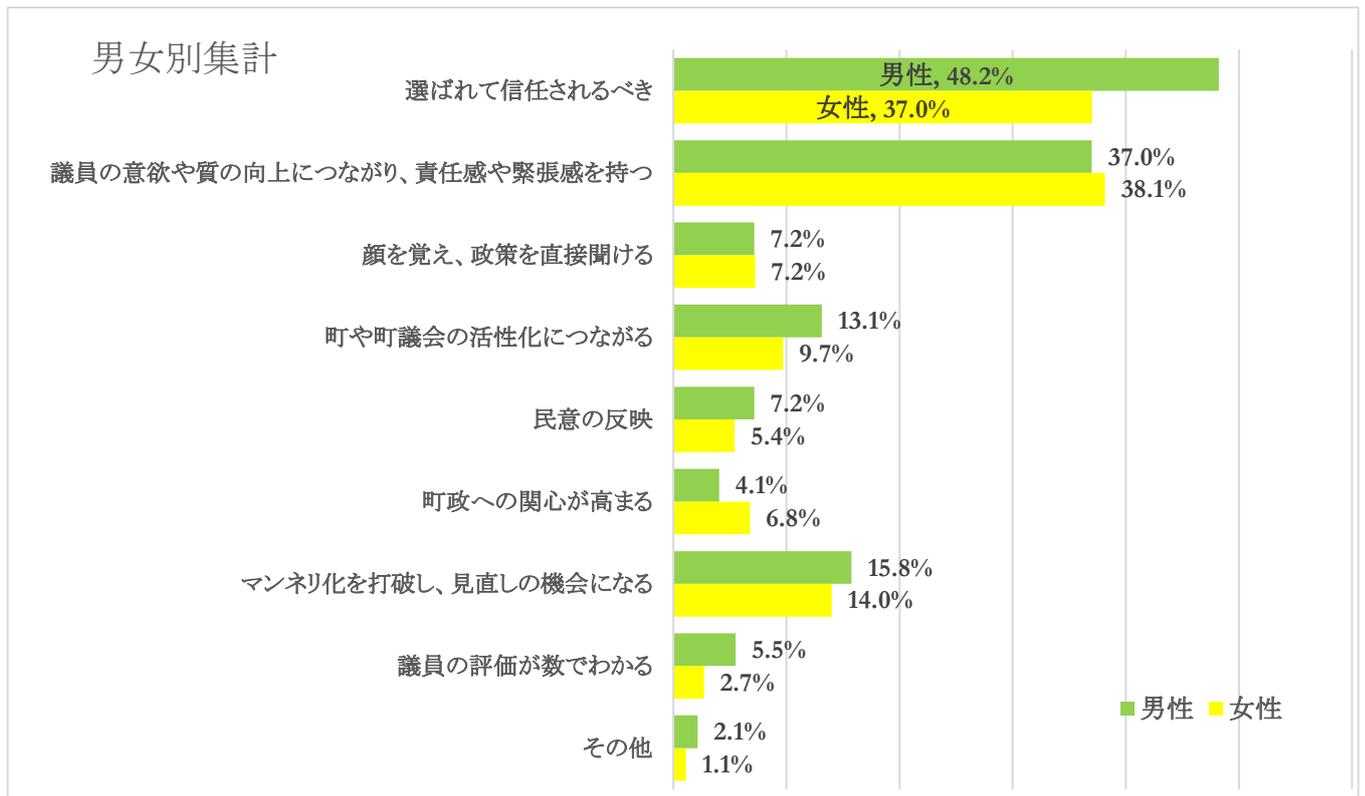
選ばれて信任されるべきが42.1%

問21-① 「選挙になった方がよい」とした方その理由を2つまで教えてください。

「選挙になった方がよい」としたのは597人。その理由として「選ばれて信任されるべき」が372人42.1%、「議員の意欲や質の向上」が331人37.5%で他を引き離して多い。「マンネリ打破、見直しの機会」が131人14.8%、「町や議会の活性化」が100人11.3%で続いている。(全回答者比)



男女別、年代別に見ても同様に、「選ばれて信任されるべき」、「議員の意欲や質の向上」を回答したものが多かった。



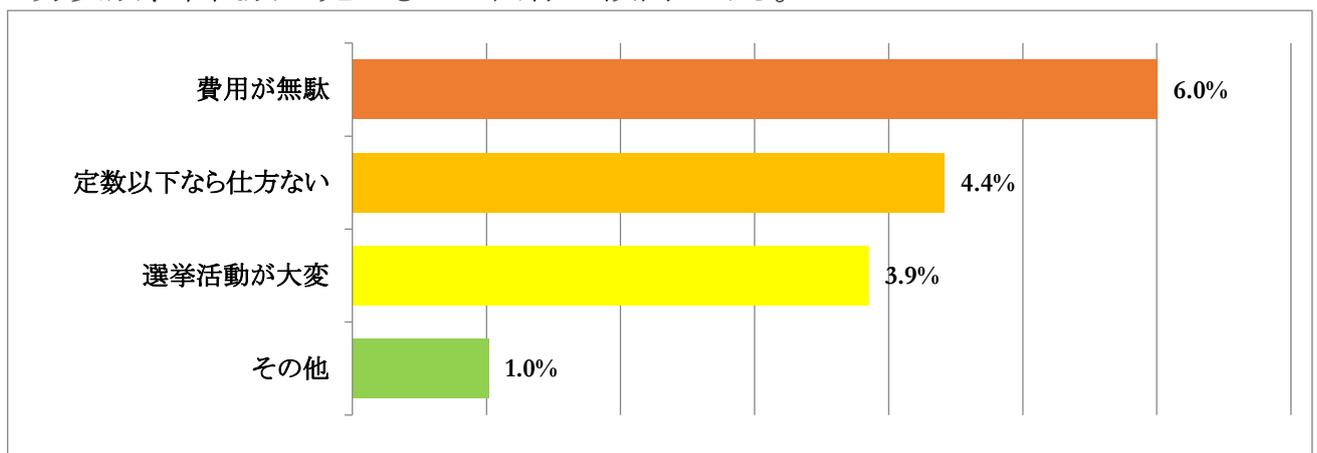
無投票の方がよい理由

費用が無駄が6.0%

問21-② 「無投票がよい」とした方その理由を2つまで教えてください。

「費用の無駄」が53人6.0%、「定数以下なら仕方ない」が39人4.4%、「選挙活動が大変」が34人3.9%となっている。(全回答者比)

男女別、年代別に見てもほぼ同様の傾向である。



議員定数は何人がよいか

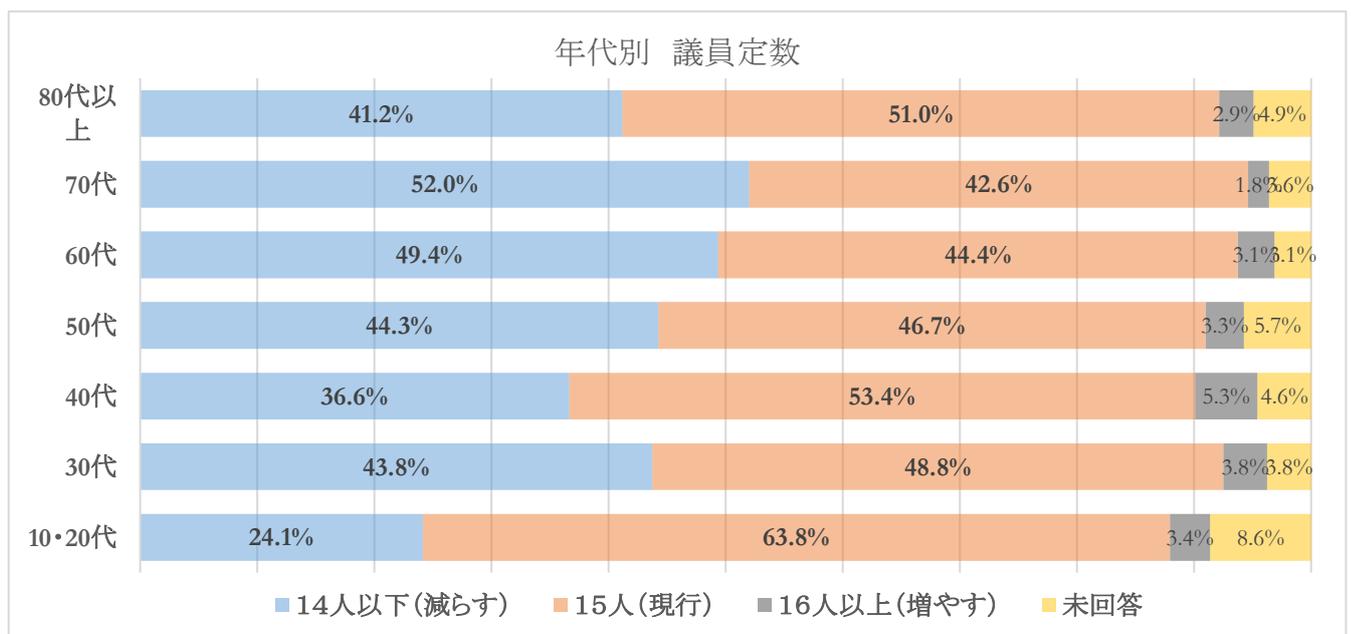
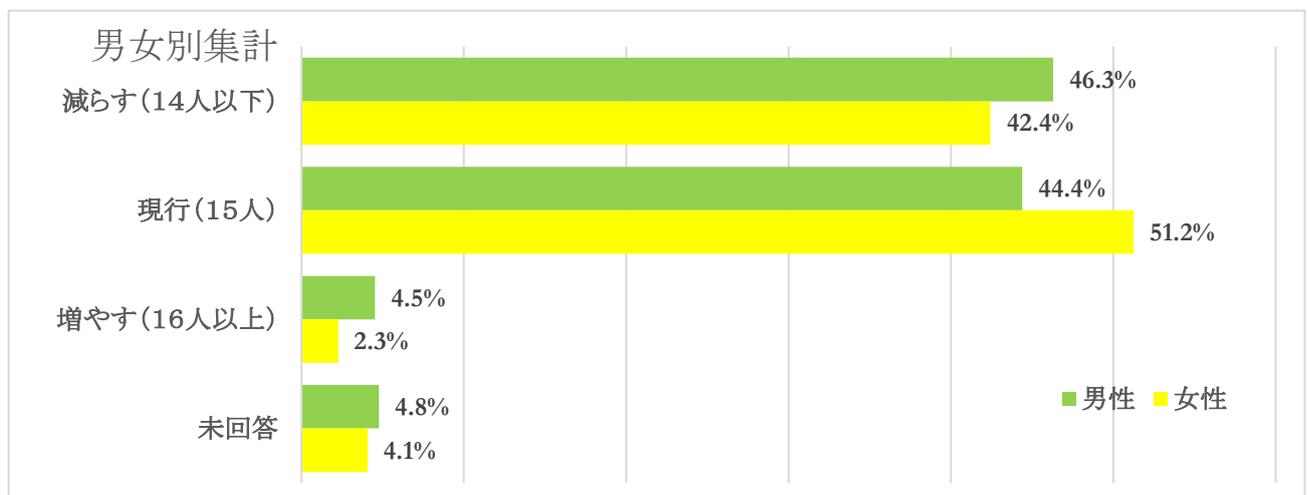
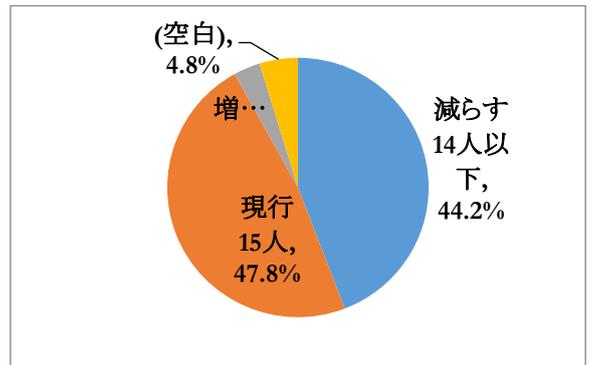
現行が47.8%で1位 男性・高年代は減らすが1位

問22 議会による健全な審議や町政チェック機能を今後も継続していくため、あなたは議員定数は何人がよいと思いますか。

「現行15人」が47.8%、「定数を減らす」が44.2%となった。

男女別では男性では「減らす」が、女性では「現行」が1位になった。

年代別では若い年代ほどで現行定数、高年代で「減らす」が1位であった。



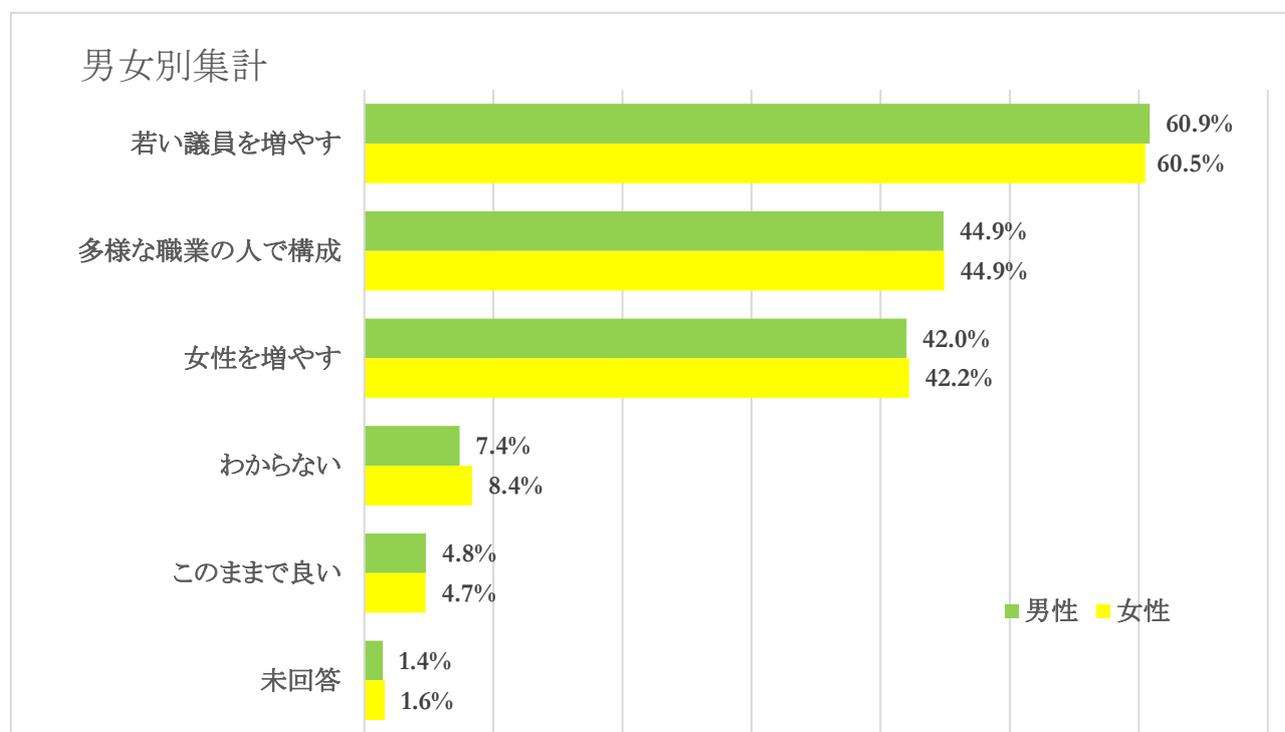
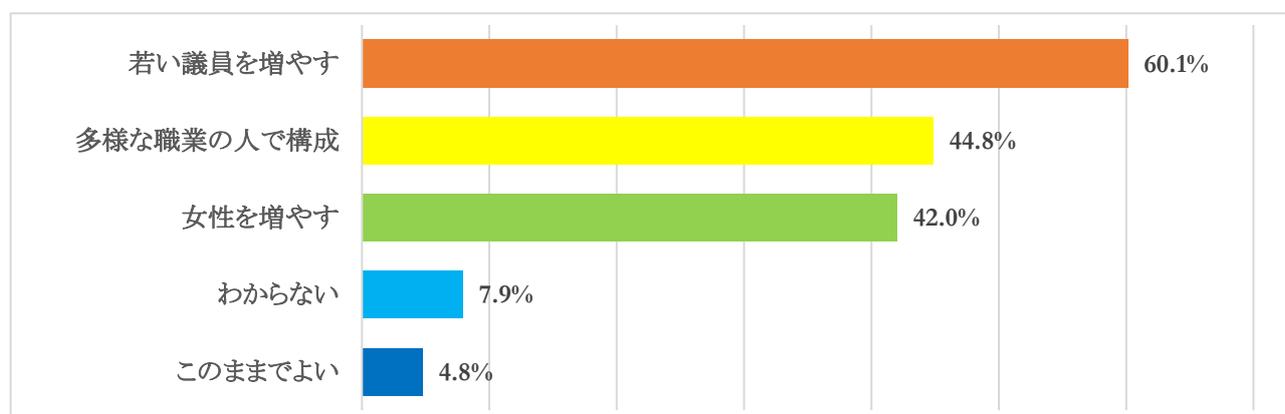
議員構成のあるべき姿は

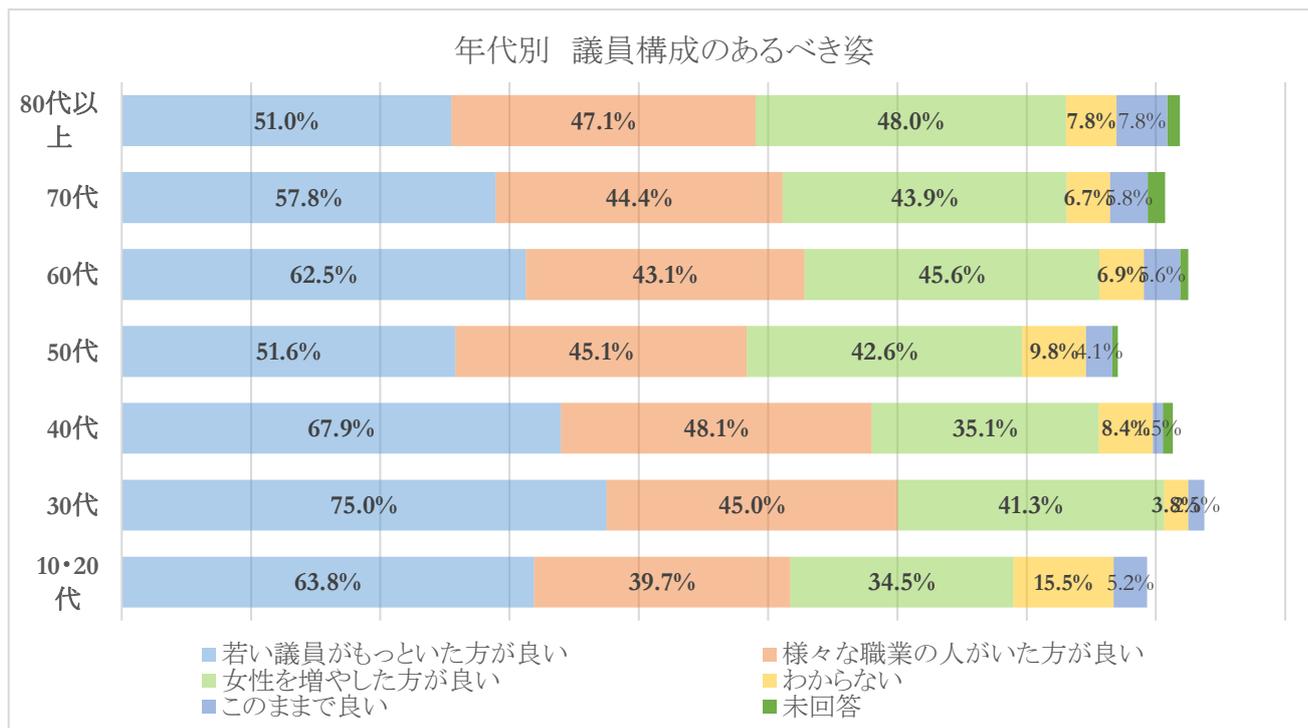
若い議員を増やすが60.1%

問23 現在町議会議員の平均年齢は64.9歳、女性議員は2人ですが、あなたは議員構成のあるべき姿をどのようにお考えですか。

「若い議員がもつといた方がよい」が531人60.1%、「様々な職業の人がいた方がよい」が396人44.8%、「女性を増やした方がよい」371人42.0%となっている。

男女別、年代別でも同じ傾向であったが、女性の回答でも「女性を増やした方がよい」は3位であった。また、年代別に見ると「女性議員を増やした方がよい」とするのは若い世代ほど少なく、高齢世代ほど多くなっている。



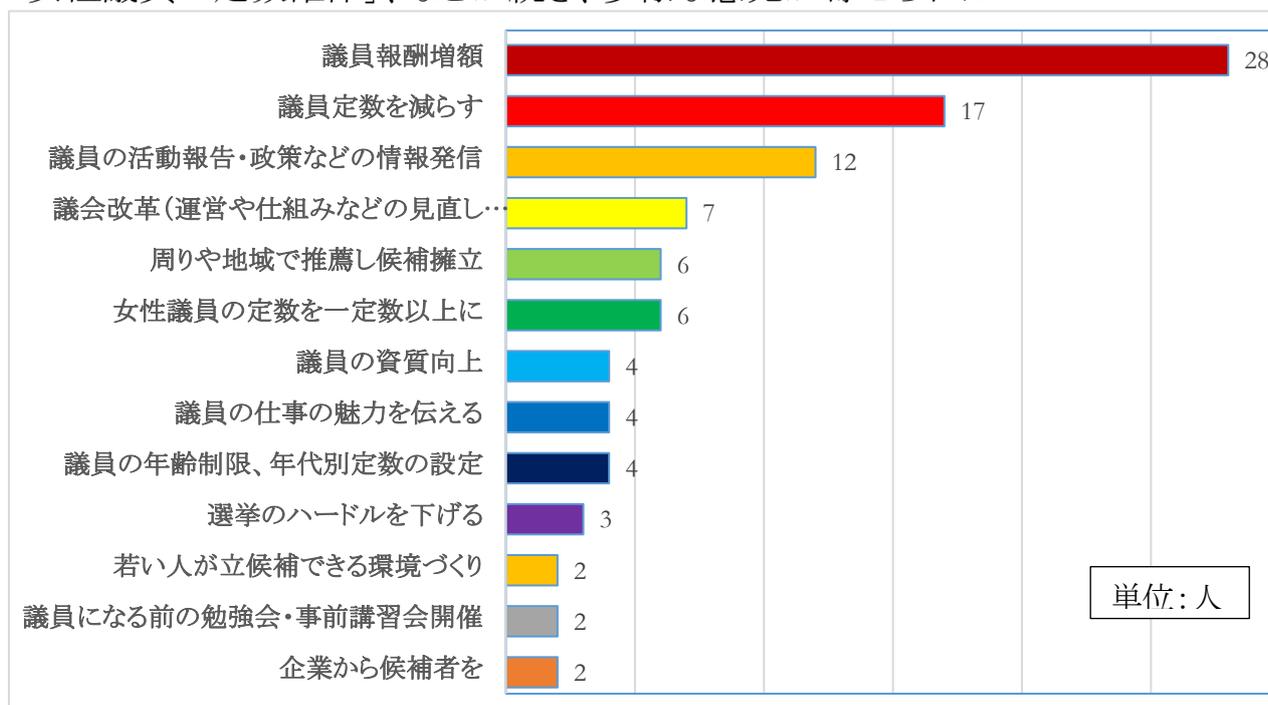


あるべき姿を実現するために

報酬増額、定数減を求める声が多い

問24 あるべき姿を実現するためにどうしたらよいと思いますか。

自由記述のため、似た意見をまとめると次表のようになった。「若い議員を増やすために議員報酬の増額を求めるもの」と「議員定数を減らす」が多く寄せられた。以下「議員の情報発信」、「議会改革」、「周りや地域からの推薦による候補者擁立」、「女性議員の定数確保」、などが続き、多様な意見が寄せられた



議員のなり手不足の原因は

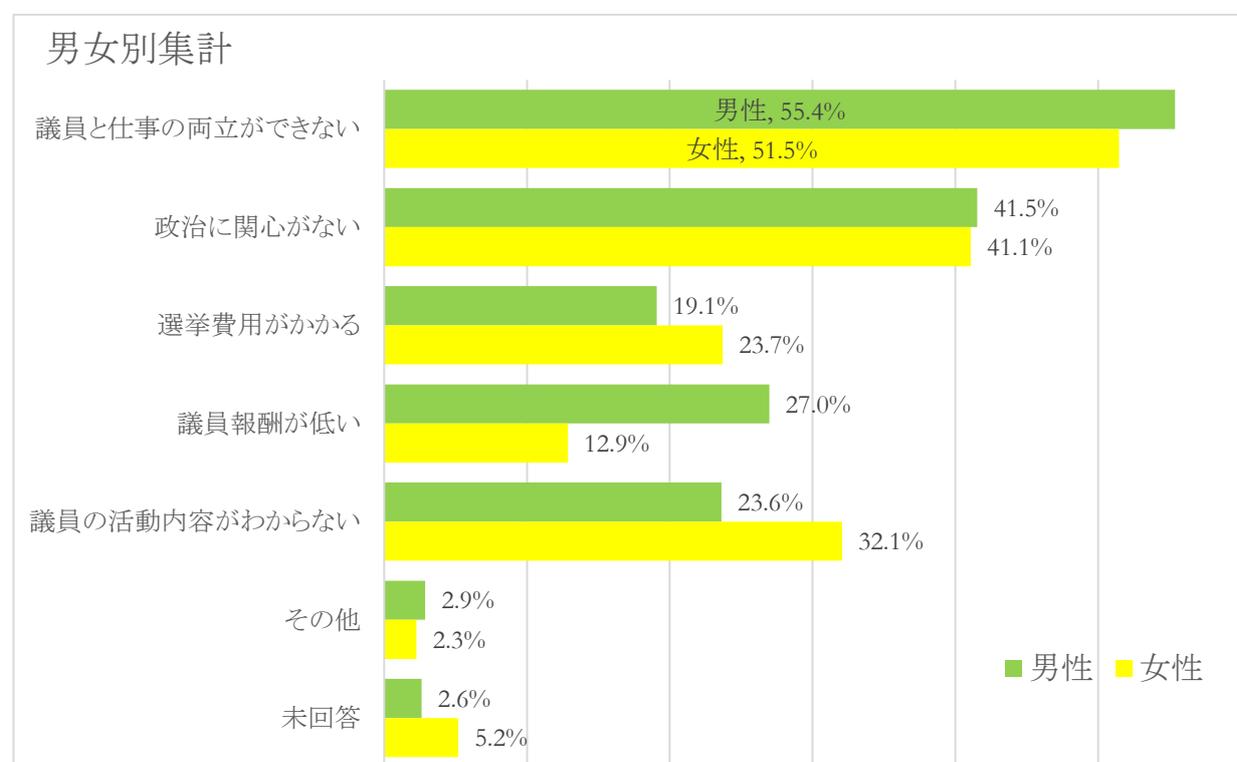
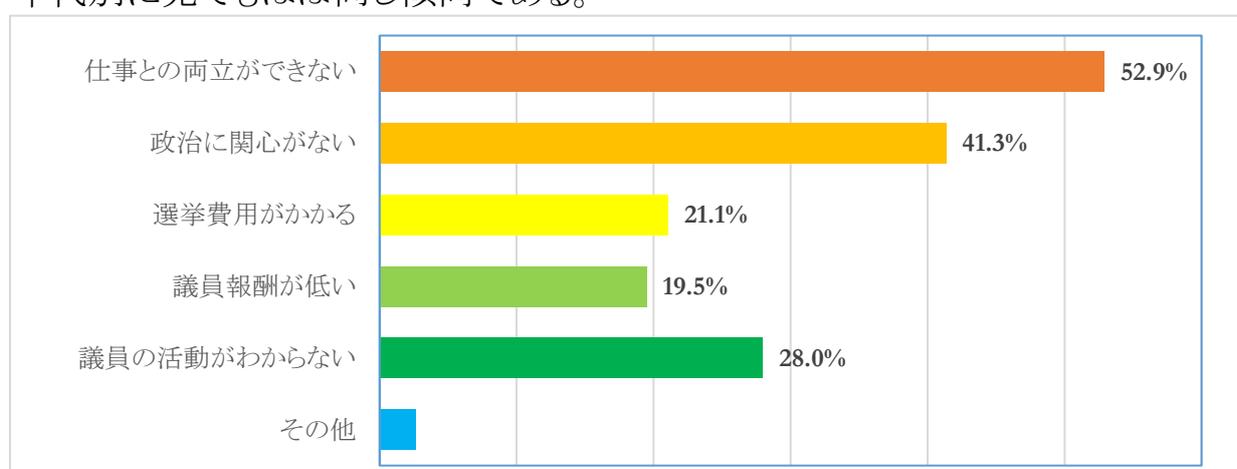
仕事との両立が出来ない、「政治に関心がない」

問25 全国の地方議会で無投票が増えており、議員のなり手不足問題が深刻化しております。何が原因だと考えますか。

「仕事との両立が出来ない」が52.9%、「政治に関心がない」が365人41.3%、「議員の活動がわからない」が247人28.0%、「選挙費用がかかる」が186人21.1%、「議員報酬が低い」172人19.5%となっている。

男女別に見てもほぼ同じ傾向であるが、「議員報酬が低い」を男性が女性の倍以上あげている。

年代別に見てもほぼ同じ傾向である。



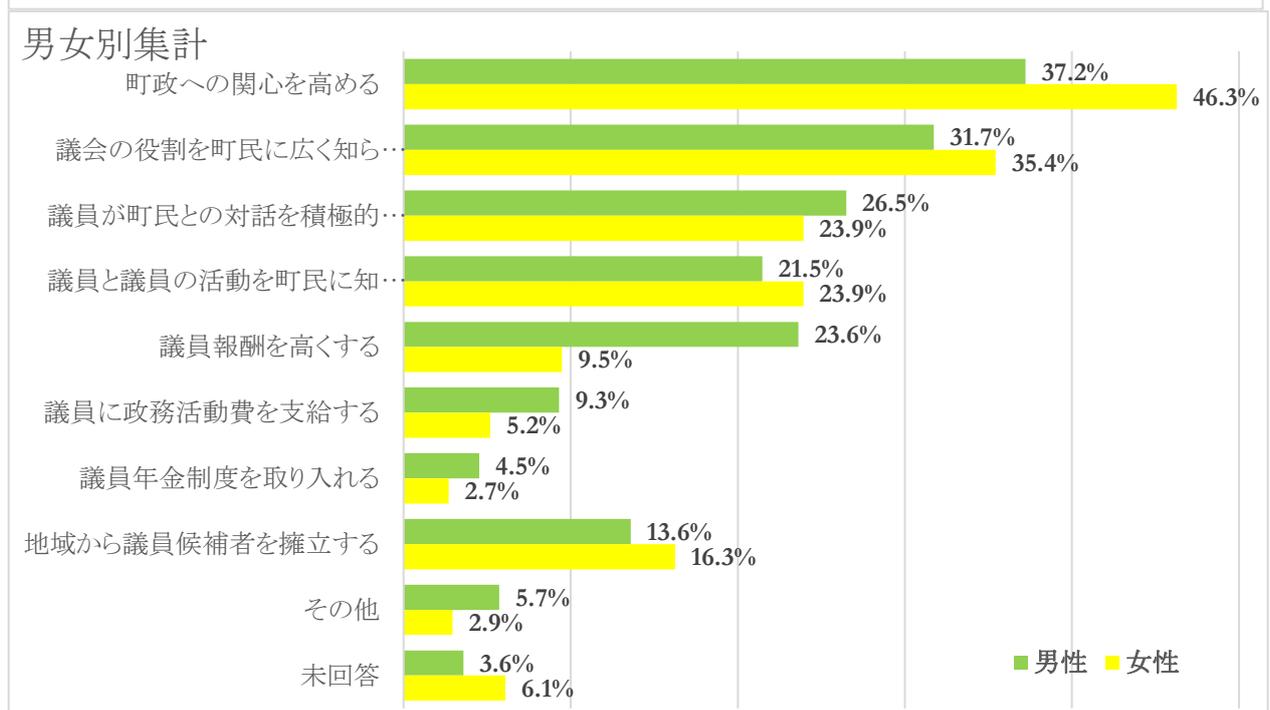
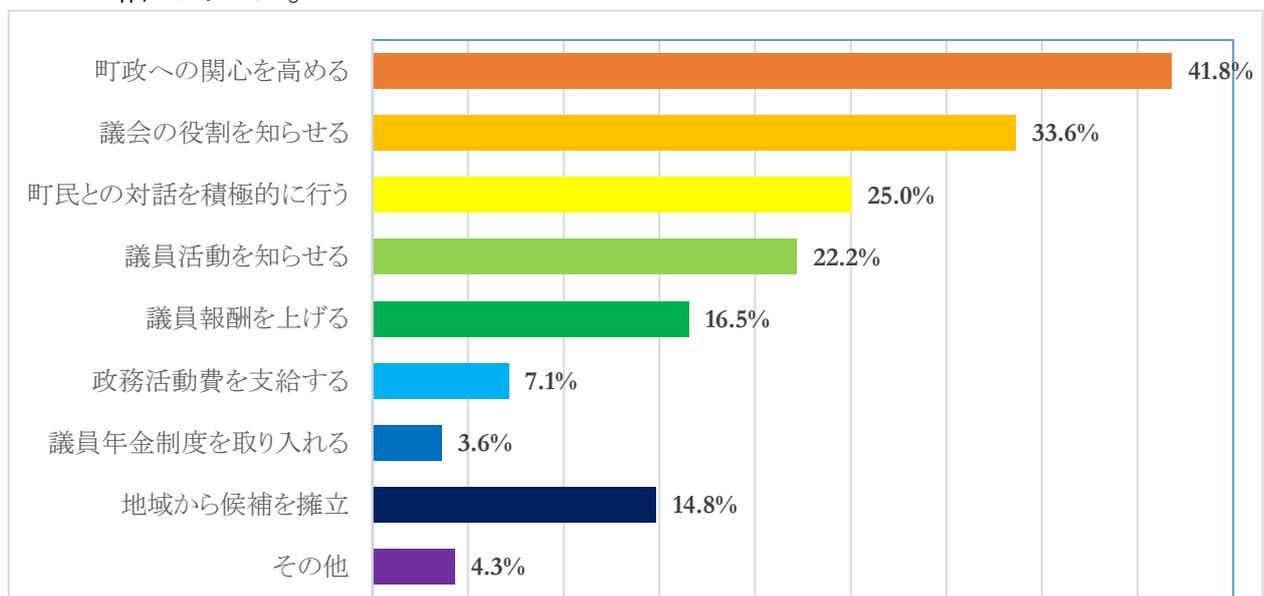
議会制度を維持していくためには

町政への関心を高めるが1位に

問26 今後も議会制度を維持していくためにはどうしたらよいと思いますか。

「町政への関心を高める」が369人41.8%、「議会の役割を知らせる」が297人33.6%、「町民との対話を積極的に」が221人25.0%、「議員活動を知らせる」が196人22.2%、「議員報酬を上げる」が147人16.5%、「地域から候補者を擁立」が131人14.8%、「政務活動費を支給する」が63人7.1%、「議員年金制度」が32人3.6%、「その他」が4.3%となった。

男女別、年代別にみても同じ傾向であるが、「議員報酬を高くする」は男性が女性の2.5倍であった。



仕事をしながら議員をすること

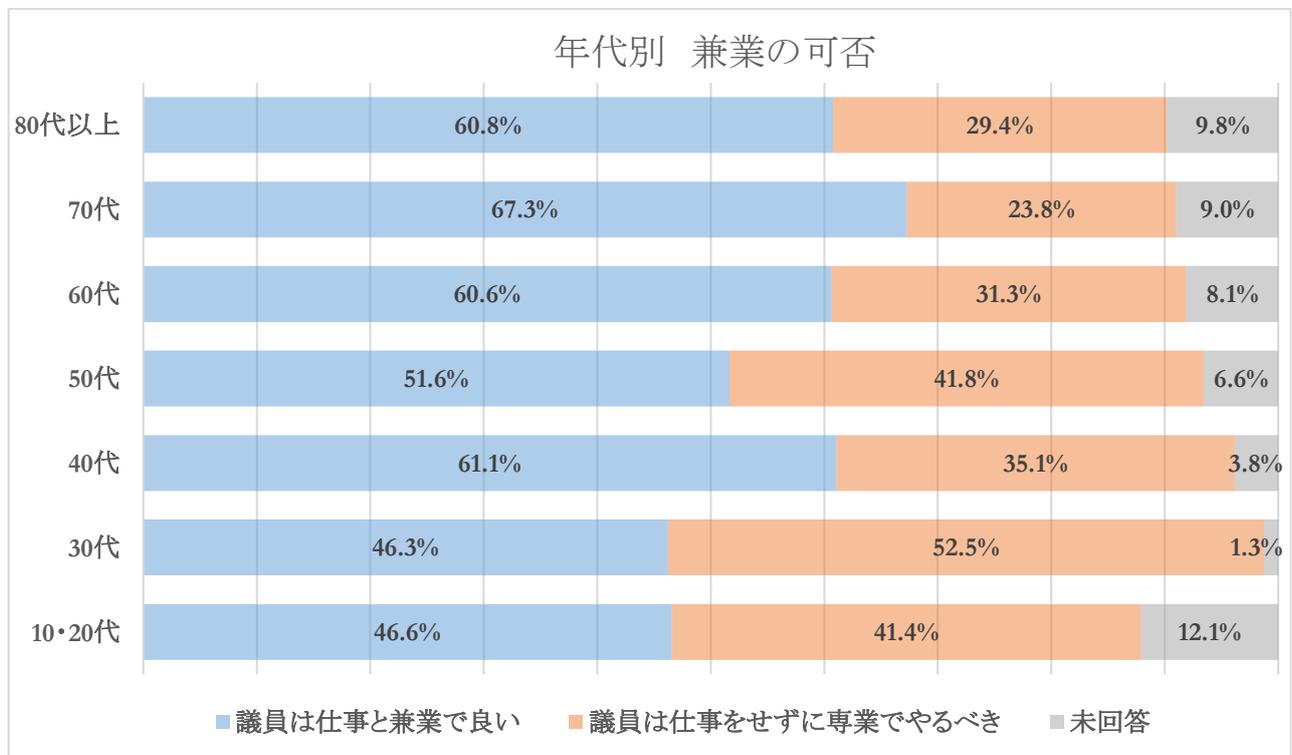
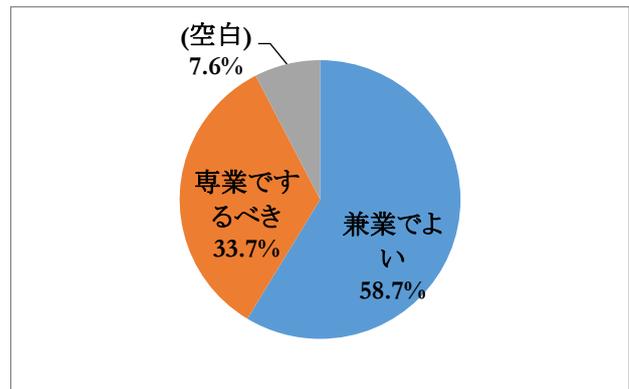
兼業でよいが6割弱 若い世代では専業の声も

問27 仕事をしながら議員をすることについてどう考えますか。

「兼業でよい」が518人58.7%、「専業でやるべき」が298人33.7%となった。

男女別に見ても同様に差異はなかった。

年代別では高年代ほど「兼業でよい」とする一方で、若年代で「専業でやるべき」が増えている。

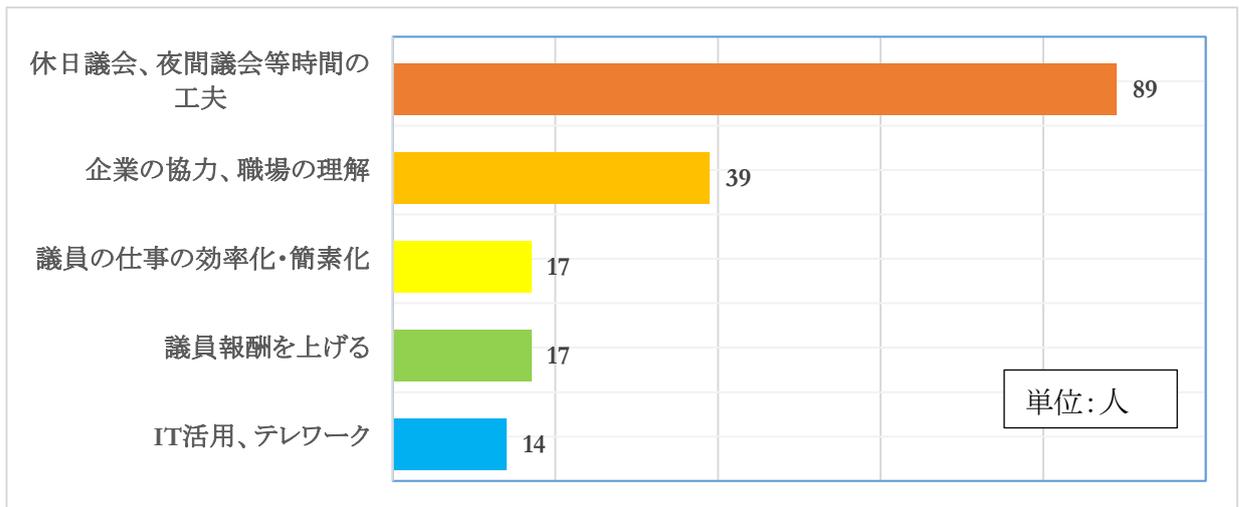


仕事をしながら議員をするためには

時間の工夫、企業・職場の理解協力を

問28 「27」で兼業でよいとした方にお伺いします。仕事をしながら議員をするためにはどうしたらよいと思いますか。

自由記述のため、似た意見を次表のようにまとめた。「休日議会、夜間議会等会議時間の工夫」が一番多く、「企業の協力、職場の理解」、「議員の仕事の効率化・簡素化」、「議員報酬を上げる」、「IT活用・テレワーク」など多種多様な意見が寄せられた。



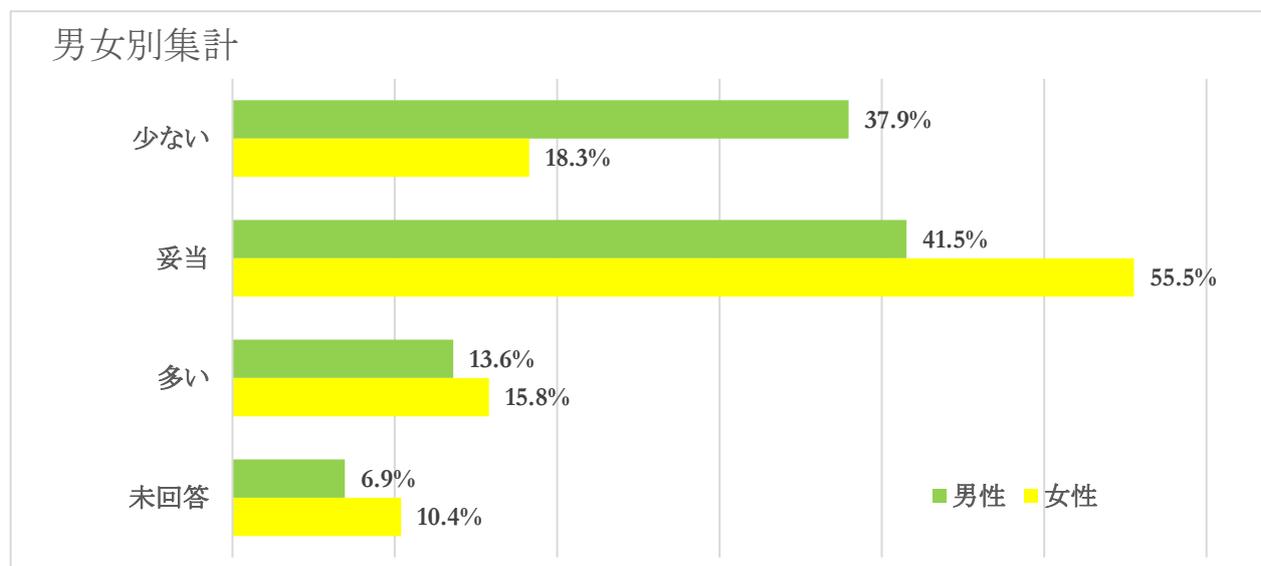
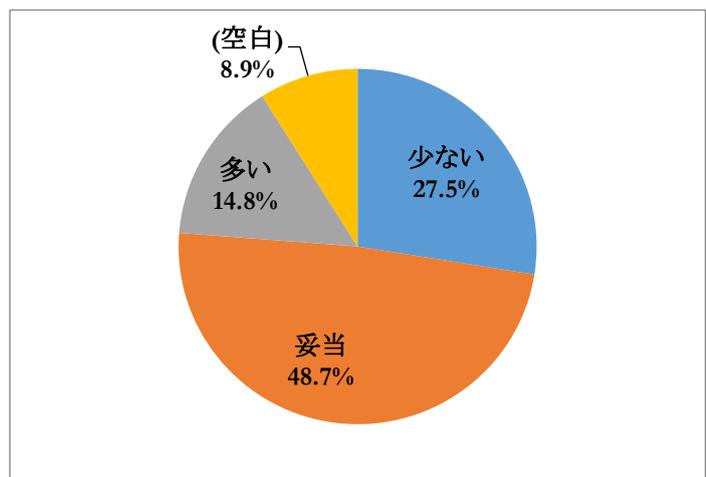
現在の議員報酬は妥当か

「妥当」とする人が約半数 男性は少ないの声も

問29 現在の議員報酬は月額 238,000 円です。この報酬についてどう考えますか。

「妥当」が最も多く430人48.7%、「少ない」が27.5%、「多い」が131人14.8%となった。

男女別に見ると男性では「少ない」とする回答が37.9%で、女性の2倍以上あった。女性は妥当とする回答が55.5%で過半数を占めた。年代別でも妥当が概ね半数であった。



あなたが議員になったら報酬はいくらか

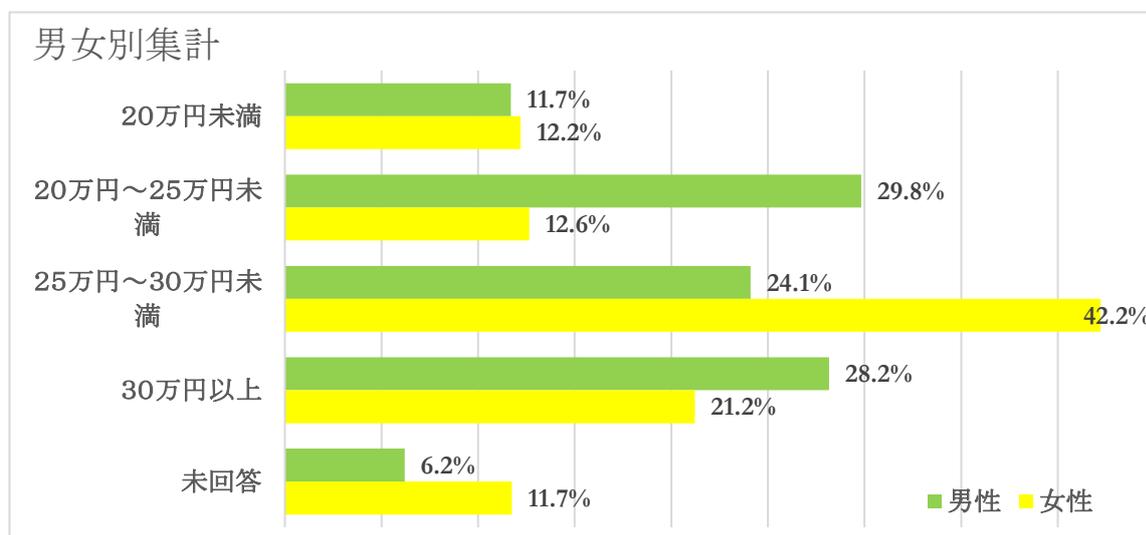
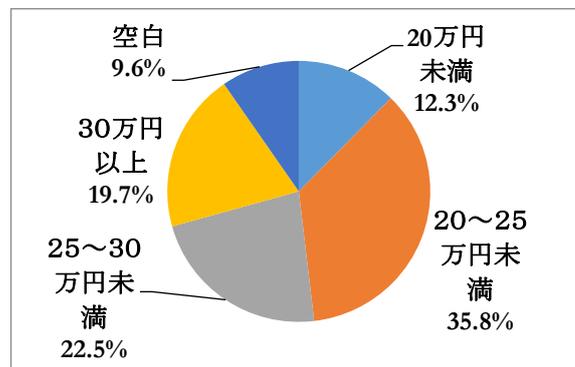
問30 もしあなたが議員になったら、議員報酬はどれくらい必要ですか。

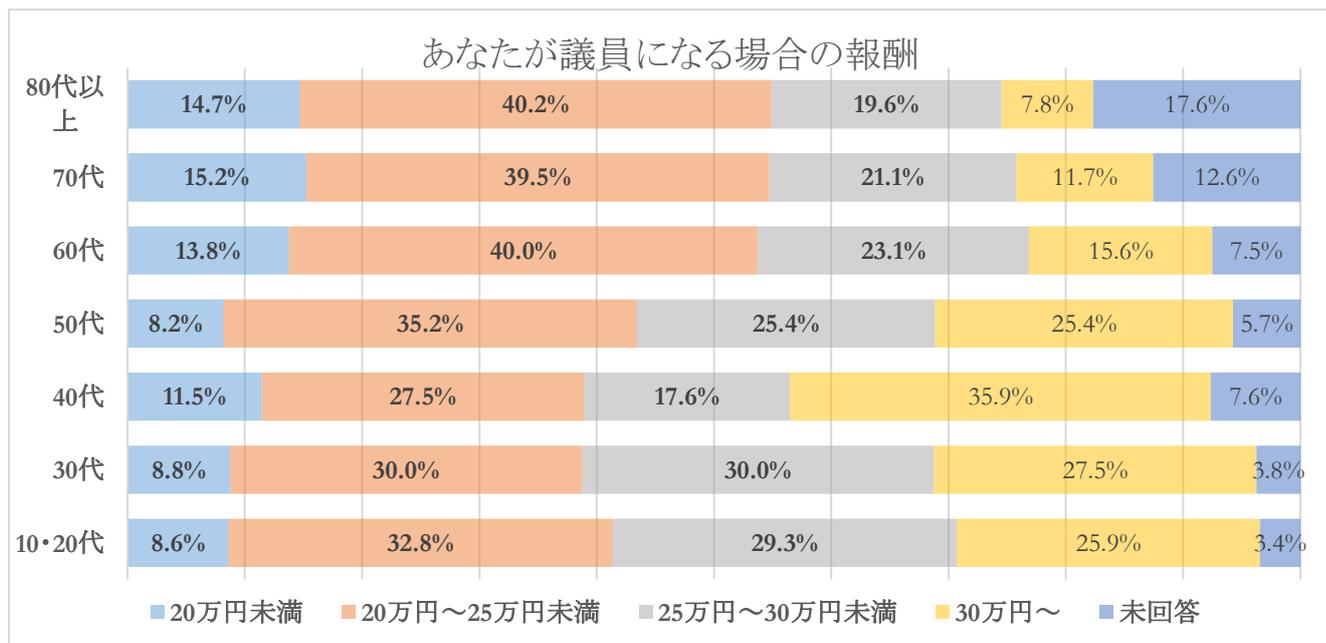
「20～25万円未満」が316人35.8%、「25～30万円未満」が22.5%、「30万円以上」が174人19.7%、「20万円未満」が109人12.3%となった。

男女別に見ると25万円以上欲しいのはは男性で52.3%、女性で63.3%となっている。

年代別に見ると50代以下では25万以上を望む声が5割を超えている。

若い世代で25万以上を望む声





あなたが議員になるとしたら政務活動費は必要か

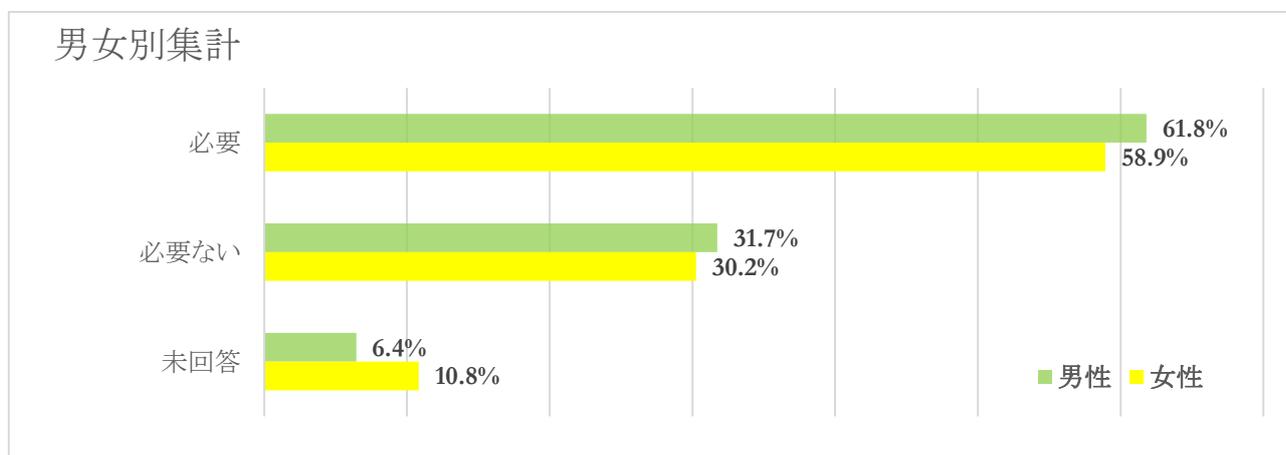
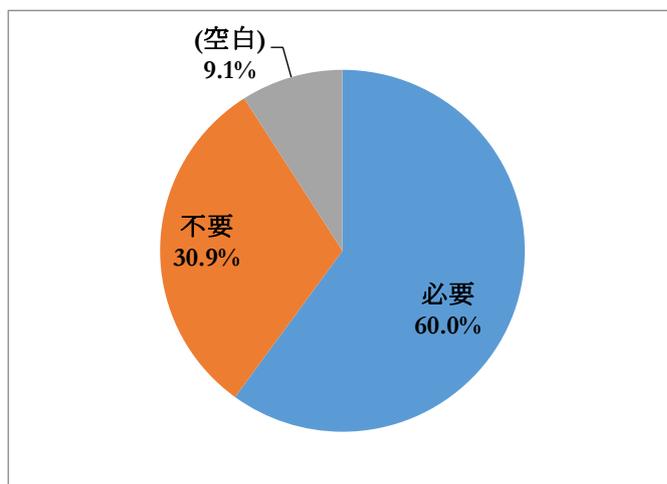
必要が6割

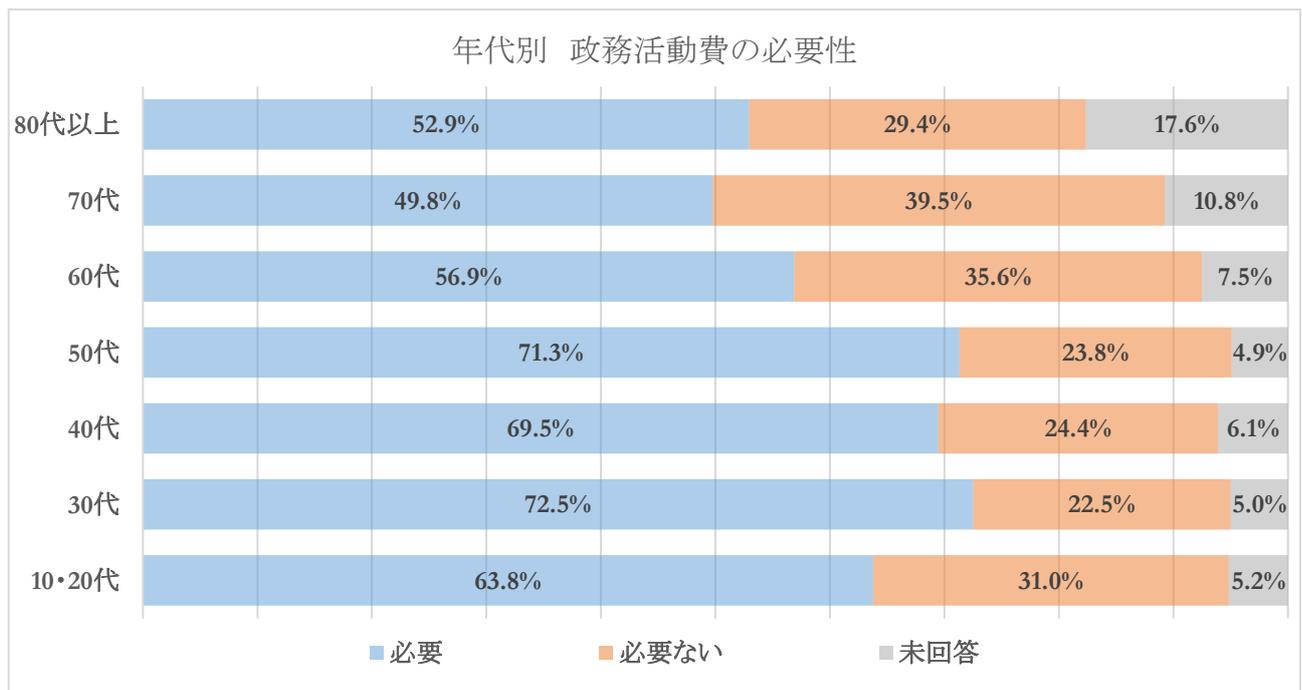
問31 もしあなたが議員になるとしたら、勉強や研修のための政務活動費が必要だと考えますか。

「必要」が60.0%、「必要ない」が30.9%となった。

男女別でもほぼ同様であった。

年代別では50代以下で必要とする声が60%以上になっている。





4 アンケート結果のまとめ

(1) 事項別のまとめ

① 議会への関心

- ・40. 8%の町民が「関心がある」として一定の関心は持たれている。
- ・男性が47. 3%が関心ありとしているのに対し、女性では35. 2%で女性の関心が低調である。
- ・年代別では60代以上で高い関心が持たれる一方で、若いほど関心が下がっている。

② 二元代表制・議会基本条例

- ・二元代表制も議会基本条例も6割が「知らない」となっており、基本的な制度や成り立ちについては殆ど理解されていない。
- ・若い世代、女性で「知らない」が多い傾向にある。

③ 議会傍聴・意見交換会

- ・約8割が議会傍聴経験がなく、6割強が意見交換会を知らないなど、議会や議会イベントへの参加などは進んでいない。
- ・男女差は殆どないが、若い世代ほど「知らない」が多い。

④ 議会だより、HP、議会・議員の情報取得

- ・殆どの町民は議会だより、地元新聞から情報を得ている。
- ・ネットやホームページの利用は殆どない。
- ・議会だよりは町民の73%で読まれており、男女差なく読まれているが、若い世代で読んでいないが多くなっている。

⑤ 意見・要望の伝達と反映

- ・「議員に要望を伝えているか」については8割以上が伝えていない。

伝えていない理由としては「意見・要望がない」が多く、「知っている議員がない」が多い。若い世代ほど「伝えていない」割合が増えている。

・「議員は町民意見を町政に反映しているか」については、反映している46.3%、反映していない25.2%であった。

高齢世代では「反映している」が5割を超え、高い評価となっているが、若い世代ほど「反映している」は減り、20代以下では17.2%と下がっている。

反映していない理由としては「町民との対話がない」が多かった

⑥議会・議員への期待

・政策提言、行政のチェック機能に期待が寄せられている。

⑦町議会議員選挙

・「選挙になった方がよい」が約7割、「無投票がよい」が約1割で、選挙を望む声が非常に多い。

男女別では男性の方が、年代別では高齢世代の方が選挙を望む声は強かった。

・記述回答の中にも選挙を求める意見は多く見られた。

・その理由としては「選ばれて信任されるべき」、「議員の意欲や質の向上」が上位に挙げられている。

・その他の理由では、「定数以下なら信任投票すべき」、「最初からやる気のある人に出てほしい」、「選ぶ人にも責任がある」などがあつた。

⑧議員報酬

・現在の報酬月額については概ね半数が妥当としている。男女別に見ると男性では37.9%が少ないとし、女性では55.5%が妥当としている。

・あなたが議員になるとしたら必要な報酬については、現状より高い25万円以上を望むのが女性では63.4%、男性では49.3%であった。

年代別で見ると50代以下の若い世代で現状より高い報酬を求めている。

(2)なり手不足について

①なり手不足の原因

・「仕事との両立が出来ない」が52.9%、「政治に関心がない」が41.3%が1番、2番に挙げられている。

・3番目に男性は「報酬が低い」、女性は「議員活動がわからない」をあげている。

②議会制度を維持するためには

・「町政への関心を高める」が41.8%、「議会の役割を知らせる」が33.6%、

「町民との対話を積極的に」が25.0%、「議員活動を知らせる」が22.2%、

「議員報酬を上げる」が16.5%、「地域から候補者を擁立」が14.8%、以下政務活動費の支給、議員年金制度確立などの順。

・なお、「議員報酬を上げる」については男性は女性の2.5倍の回答があつた。

③議員と仕事の兼業

- ・兼業については6割弱がよいとしている。
若い世代で「専業でやるべき」が増えている
- ・仕事をしながら議員をするためには「休日議会、夜間議会等会議時間の工夫」と「企業の協力、職場の理解」が特に多かった。
「議員の仕事の効率化・簡素化」、「議員報酬を上げる」、「IT活用・テレワーク」なども寄せられた。

④議員構成のあるべき姿とそのために

- ・「若い議員を増やす」が60.1%、「様々な職業の人で構成」が44.8%、「女性を増やす」42.0%であった。
- ・あるべき姿を実現するために以下の意見が寄せられた。
「若い議員を増やすために議員報酬の増額を求める」、「議員定数を減らす」が多く寄せられた。
- その他「議員の情報発信」、「議会改革」、「周りや地域からの推薦による候補擁立」、「女性議員の定数確保」、「議員の年齢制限」など。

(3)定数について

①定数は何人がよいか

- ・全体では「現行」が47.8%、「減らす」が44.2%となった。
- ・男女別で見ると男性では「減らす」が多く、女性では「現行」が多かった。
- ・年代別では若い世代～中年代で現行が多く、高年世代では減らすが多かった。
- ・自由記述回答では定数減を求める意見が多く寄せられた。

②その他

- ・女性議員の定数確保。

(4)傾向と課題など

- ・年代別では比較的年代の高い方が、関心、理解度、参加、評価などが高い。
- ・男女別では男性の方が関心、理解度、参加、評価などがやや高い。
- ・定数問題では女性や比較的若い世代が現行定数を望み、比較的高齢世代が定数減を求めている。関心、理解度、評価などが高い層で定数減を、低い層で現行定数を求める傾向となっている。
- ・なり手不足解消策については「時間の工夫」、企業の協力などが挙げられているが、実効性について検証が必要である。
- ・議会、議員からの情報発信を望む声も多く出される一方で、議会がネット発信している情報は殆ど見られていない。